

平成30年度(2018年度)

金沢大学



推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・
アドミッション・オフィス入試(AO入試)・私費外国人留学生入試

学生募集要項

人間社会学域
理工学域
医薬保健学域

KANAZAWA
UNIVERSITY

出願手続から入学までの日程

◎推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
人間 社会 学域	国際学類	11月 1日(水) ～ 11月 7日(火)	11月10日(金)頃	第2次選考 11月25日(土)	第1次選考 11月16日(木) 第2次選考 12月 6日(水)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	4月
	経済学類	11月25日(土) 11月26日(日)		12月 6日(水)			
学保医 域健薬	保健学類	11月25日(土)					

◎推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
会人 学間 域社	法学類 学校教育学類 地域創造学類	12月11日(月) ～ 12月15日(金)	12月21日(木)頃	1月27日(土)	2月 5日(月)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	4月
	医薬保 域健学 域			医学類	第2次選考 2月 5日(月)	第1次選考 2月 1日(木) 第2次選考 2月 7日(水)	
保健学類				1月27日(土)	2月 5日(月)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	

◎帰国子女入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	学力検査等	合格者発表	入学手続	入学
人 間 社 会 学 域	人文学類 法学類 地域創造学類	1月16日(火) ～ 1月19日(金)	2月 8日(木)頃	2月25日(日)	3月 7日(水)	3月15日(木) まで	4月
	国際学類	10月23日(月) ～ 10月27日(金)	11月10日(金)頃	第2次選考 11月25日(土)	第1次選考 11月16日(木) 第2次選考 12月 6日(水)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	
	経済学類	11月25日(土) 11月26日(日)		12月 6日(水)			
理 工 学 域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類	1月16日(火) ～ 1月19日(金)	2月 8日(木)頃	2月25日(日)	3月 7日(水)	3月15日(木) まで	
健医 学薬 域保	医学類 薬学類・創薬科学類			2月25日(日) 2月26日(月)			
	保健学類			2月25日(日)			

◎国際バカロレア入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 法学類	10月23日(月) ～ 10月27日(金)	11月10日(金)頃	11月25日(土)	12月 6日(水)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	4月
	経済学類			11月25日(土) 11月26日(日)			
	学校教育学類 地域創造学類 国際学類						
理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類			11月25日(土)			
健薬保 学域	薬学類・創薬科学類 保健学類						

◎アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
健薬保 学域	薬学類 創薬科学類	1月15日(月) ～ 1月19日(金)	1月24日(水)	第2次選考 2月 5日(月)	第1次選考 2月 1日(木) 第2次選考 2月 7日(水)	2月13日(火) ～ 2月14日(水)	4月

◎私費外国人留学生入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	学力検査等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 地域創造学類 国際学類	1月16日(火) ～ 1月19日(金)	2月 8日(木)頃	2月25日(日)	3月 7日(水)	3月27日(火) まで	4月
理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類	10月23日(月) ～ 10月27日(金)	11月10日(金)頃	11月25日(土)	12月 6日(水)	2月 8日(木) ～ 2月13日(火)	
健薬保 学域	医学類 薬学類・創薬科学類 保健学類	1月16日(火) ～ 1月19日(金)	2月 8日(木)頃	2月25日(日) 2月26日(月) 2月25日(日)	3月 7日(水)	3月27日(火) まで	

【留意事項】 不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前は特に注意してください。

金沢大学(入試情報) Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

目次

人間社会学域の入学定員等の変更及び理工学域の改組について

【共通】

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）… 1
2. 推薦入試, 帰国子女入試, 国際バカロレア入試, アドミッション・オフィス入試（AO入試）及び私費外国人留学生入試…10
3. 障がいのある者等の出願…10
4. 問合せ先…11
5. 入試情報の提供…12
6. 個人情報の保護…13

【推薦入試】

- I. 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）
 1. 募集人員…14
 2. 推薦要件…15
 3. 選抜方法…16
 4. 試験期日・試験時間…17
- II. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）
 1. 募集人員…18
 2. 推薦要件…19
 3. 選抜方法…23
 4. 試験期日・試験時間…38
- III. 出願手続
 1. 出願期間…39
 2. 出願方法…39
 3. 出願書類等…39
 4. 推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験
受験教科・科目 自己確認表…43
 5. 受験票の送付…51
- IV. 合格者発表
 1. 発表日時…51
 2. 発表場所…51
- V. その他
 1. 推薦入試に合格しなかった場合の取り扱い…52
 2. 入学手続…52

【帰国子女入試】

1. 募集人員…53
2. 出願資格…53
3. 選抜方法…55
4. 試験期日・試験時間…58
5. 出願期間…59
6. 出願手続…59
7. 受験票の送付…61
8. 合格者発表…61
9. 入学手続…62

【国際バカロレア入試】

1. 募集人員…63
2. 出願資格…63
3. 選抜方法…64

4. 試験期日・試験時間…66
5. 出願期間…66
6. 出願手続…66
7. 受験票の送付…68
8. 合格者発表（条件付合格者発表）…68
9. 入学手続…69

【アドミッション・オフィス入試（AO入試）】

1. 募集人員…70
2. 出願資格…70
3. 出願要件…70
4. 選抜方法…71
5. 試験期日・試験時間…72
6. 出願期間…72
7. 出願手続…72
8. 受験票の送付…74
9. 合格者発表…74
10. AO入試に合格しなかった場合の取り扱い…75
11. 入学手続…75

【私費外国人留学生入試】

1. 募集人員…76
2. 出願資格…76
3. 出願条件…76
4. 実施教科・科目等…78
5. 選抜方法…79
6. 試験期日・試験時間…82
7. 出願期間…83
8. 出願手続…83
9. 受験票の送付…84
10. 合格者発表…85
11. 入学手続…85

【学生生活】（共通）

1. 入学時に必要な経費…86
2. 入学金免除・入学金徴収猶予…86
3. 授業料の納入…87
4. 授業料免除…87
5. 金沢大学学生特別支援制度…88
6. 奨学金…88
7. 学生寮…89
8. 学生留学生宿舎…90
9. アルバイト…90
10. 保健管理センター…90
11. 学生教育研究災害傷害保険…90
12. 携帯型パソコンの用意について…90
13. 申請書類等の請求及び照会先…91

【その他の情報】

1. 金沢大学所在地略図…92
2. 金沢大学キャンパス配置図…93

（注）本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

『自然災害により被災された受験生の皆さまへ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会を確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学（入試情報）Webサイトをご覧ください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

人間社会学域の入学定員等の変更及び 理工学域の改組について

金沢大学は、以下のとおり、平成30年4月に人間社会学域の入学定員等の変更並びに理工学域の改組を行う予定です。

《人間社会学域》

学際分野及び社会科学分野においてローカルな視点、グローバルな視点から課題探究・解決ができる人材が、より一層求められていることを踏まえ、以下の3学類について入学定員を変更します。

学 類	改組前	改組後
	入学定員	入学定員
経済学類	185名	135名 (△50名)
地域創造学類	80名	90名 (+10名)
国際学類	70名	85名 (+15名)

《理工学域》

理学と工学の分野融合的な観点を基盤とした、新たな価値の創造や技術革新を通じて未来社会を牽引できる人材を養成するため、これまでの6学類体制を再編し、新たに7学類となります。

改組前		→	改組後	
学 類	入学定員		学 類	入学定員
数物科学類	84名	数物科学類	84名	
物質化学類	81名	物質化学類	81名	
機械工学類	140名	機械工学類	100名	
電子情報学類	108名	フロンティア工学類	110名	
環境デザイン学類	74名	電子情報通信学類	80名	
自然システム学類	102名	地球社会基盤学類	100名	
計	589名	生命理工学類	59名	
		計	614名 (+25名)	

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語および英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

国語と外国語の試験および面接により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本留学試験、TOEFL、国語の試験および面接により知識・表現力・意欲等を重点的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことが望まれます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、このような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材（法学類共通）

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経

緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材（推薦入試）

- ・コミュニケーション能力（とくに、人の話を正確に理解し、自分の意見を論理的に述べる能力）が優れている人
- ・課題や仕事に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針

■推薦入試

基礎学力に加え、面接を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■帰国子女入試

国語能力に加え、面接を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語能力及び英語能力に加え、日本語による面接を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて、高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とする推薦入試、および帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人

- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

■推薦入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語及び英語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■帰国子女入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語及び英語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の文章に関する理解力、論理的思考力、表現力に加え、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語および情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することが求められます。さらに現代社会の経済およびそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことが望まれます。

【学校教育学類】

激しく変動するグローバル社会の中で、これからの学校教育における新たな学びを支える教師には、教科や教職に関する専門的な知識および実践的指導力に加え、絶えず自律的に学び続け、学校を取り巻く現代社会の変化や諸問題を的確に把握し、使命感を持って課題解決にあたる姿勢が求められます。また、様々な社会的背景を持った多様な子どもたちに向き合い、より深く、共感的に理解しつつ、子どもの発達等に関する専門的知見を踏まえながら、一人一人の子どもたちのニーズに応じた対応が求められます。

学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標としており、専門職としての教師への熱意にあふれ、かつ地域における文化の形成に寄与する人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

- ・自立した専門職としての教師を目指す人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の考えを表明し、他者との対話を通じて、反省的に自己を形成していこうとする人

- ・教育を通じて、地域社会の再生と発展に貢献しようとする意志を持っている人

選抜の基本方針

■推薦入試

〈石川県教員希望枠〉

基礎学力及び勉学意欲ならびに、石川県で教職に就くことへの熱意、資質・適性等を総合的に評価します。

〈専修枠〉

【国語・社会科・英語教育専修】

基礎学力及び勉学意欲、人文・社会科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【数学・理科教育専修】

基礎学力及び勉学意欲、自然科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【音楽教育専修】

基礎学力及び演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力、楽典の基礎的知識、志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を評価します。

【美術教育専修】

基礎学力、形体に対する表現力、課題に対する思考能力と論述能力、基礎知識・論理的思考能力及び勉学意欲や資質並びに提出作品等から総合的に評価します。

【保健体育専修】

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質、大学入学後の計画等を総合的に評価します。

【家政教育専修】

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【特別支援教育専修】

基礎学力、課題に対する思考能力と論述能力、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修が卒業要件となっていることから、次の3点が望まれます。

- ・小学校・中学校・高等学校およびそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに、新たな価値創出によって地

域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の4つのコースがあります。推薦入試以外の学生は、2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮して各コースに所属します。

求める人材

- ・大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

選抜の基本方針

■推薦入試

福祉マネジメント・環境共生・地域プランニングコースでは、基礎学力に加え、面接により大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■帰国子女入試

小論文課題から、地域創造に関わる課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を評価し、成績証明書（調査書）及び面接により、大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■私費外国人留学生入試

小論文課題を論述することにより、基礎的知識・思考能力・論述能力等を総合的に評価します。面接では、多面的な質問をおこない、勉強意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の各コースにおいて、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことが求められます。

また、地域の諸問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことが望まれます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感性、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあり、また、国際社会、米英の

両コースには英語だけで卒業できる英語プログラムもあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

■推薦入試

第1次選考では、4技能をみる英語外部試験（TOEFL-iBT, IELTS〈アカデミック・モジュール〉, GTEC-CBT, TEAP のいずれか）のスコア及び調査書、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。第2次選考では面接を行います。面接では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、推薦書、志願理由書も面接の際の参考とします。

■帰国子女入試

第1次選考では、4技能をみる英語外部試験（TOEFL-iBT, IELTS〈アカデミック・モジュール〉, GTEC-CBT, TEAP のいずれか）のスコア及び成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。第2次選考では面接を行います。面接では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、推薦書、志願理由書も面接の際の参考とします。

■私費外国人留学生入試

英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせます。これによって、英語の知識とともに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。また、面接では、基礎知識や日本語によるコミュニケーション能力、勉強意欲を十分に有しているかを重視します。そして、日本留学試験の成績や英語外部試験（TOEFL）のスコアと合わせて、総合的に判定します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類ではグローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために、高校在学中に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得しておくことが望まれます。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで受験生には、日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことの能

力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことも望まれます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えてグローバル・イシューに関係する様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学、計算科学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なものの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年進級時に本人の希望にもとづき、数学、物理学、計算科学の3つのコースのいずれかを選択し、より専門的な内容の学修へと進みます。

数物科学類では、数学・物理学の基礎に加えて計算機の技術も学ぶことでバランスのとれた力を身につけることができます。科学の基礎分野における問題意識や基本原理を学び、様々な数理・自然現象を説明することができること、最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力を身につけること、コミュニケーション能力や表現能力、種々の自然現象を数学・物理の原理に基づいて分析し計算機の助けを借りて解析し、自ら課題を発見して論理的考察を行い、科学的実証により問題を解決することを重視します。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれをを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、物理学、計算科学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに、面接により理解度、勉学意欲、基本的知識等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び日本語・英語の語学力を重視するとともに、面接により日本語能力、勉学意欲、資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目（数学、理科、

外国語、国語、地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに日常生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し、社会のグローバル化を積極的に担える理学及び工学的素養を身につけた人材の育成を目標としており、“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

物質化学にとっての基本的科目である数学・化学及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

数学・化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地歴・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した应用能力を涵養し、先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知

り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性があり、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれます。

【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせる履修します。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、

高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人

- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取り組みたい人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数

学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことが望まれます。また、一般入試の個別学力検査で課している科目(数学、物理、英語)については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことが求められます。

【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活基盤となる社会、及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球環境科学や土木都市工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目(大学入試センター試験で課している科目を含む)について、しっかりと身につけておく必要があります。特に、理系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけて

おく必要があります。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価します。加えて、成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して評価します。

■私費外国人留学生入試

数学、理科、英語の学力を評価します。日常生活に必要な日本語の読解・筆記能力も重視します。面接では、学類での授業を理解するための基礎知識や勉学意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目(大学入試センター試験で課している科目を含む)について、しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師と

しての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

なお、外国人留学生については、医師国家試験が日本語で行われる関係上、相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針

選抜の方法としては面接試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置いています。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を面接試験で評価します。

加えて、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材養成を目的とする推薦入試の特別枠では、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

【薬学類】

一般入試においては薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。AO入試においては、両学類を区別して募集し、大学院までの一貫した教育を導入しています。

求める人材（薬学類共通）

- ・国内外の大学・研究機関において、医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い、次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- ・高度な専門性を活かし、人類の健康増進や医薬品等の適正使用、創製を通じて社会に貢献することを志す者
- ・先進的医療や薬剤師教育に主体的に取り組む医療従事者や、衛生行政従事者を志す者

求める人材（アドミッション・オフィス入試）

- ・生命薬学や医療に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲的で、大学院医薬保健学総合研究科・薬学専攻博士課程（4年制）までの一貫した教育を受けて高度な専門性を身につけ、薬剤師の資格と博士（薬学または学術）の学位を取得して薬系大学等の教育・研究者となり、次世代の薬剤師や教育・研究者の養成を担うことを志す者

選抜の基本方針

■帰国子女入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を面接により評価します。

■アドミッション・オフィス入試

知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価し、特に以下の(1)～(4)を重視します。(1)は書類審査及び大学入試センター試験の得点、(2)～(4)は書類審査、小論文及び面接試験で評価を行い、薬学類がAO入試で求める人材であるかどうか、総合的に判断します。

- (1) 必要な基礎学力を備えているか
- (2) 将来への目的意識が明確で、そこへ向かう意欲・資質を有するか
- (3) 本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち、自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
- (4) 本学における博士課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解することが求められます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【創薬科学類】

一般入試においては薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。AO入試においては、両学類を区別して募集し、大学院までの一貫した教育を導入しています。

求める人材（創薬科学類共通）

- ・国内外の大学・研究機関において、医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い、次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- ・製薬企業等の研究所において、病気で苦しむ世界中の人々を救う医薬品等の創製に携わることを志す者
- ・人類の健康維持増進に取り組む国内外の衛生行政機関等において、主導的役割を果たすことを志す者

求める人材（アドミッション・オフィス入試）

- ・医薬品創製や健康増進を中核に据えた生命科学に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲的で、大学院医薬保健学総合研究科・創薬科学専攻博士前期（2年制）及び博士後期（3年制）課程までの一貫した教育を受けて高度な専門性を身につけ、博士（創薬科学または学術）の学位を取得して薬系大学・研究所等で国際的に活躍する創薬研究者となることを志す者

選抜の基本方針

■帰国子女入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を面接により評価します。

■アドミッション・オフィス入試

知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価

し、特に以下の(1)～(4)を重視します。(1)は書類審査及び大学入試センター試験の得点、(2)～(4)は書類審査、小論文及び面接試験で評価を行い、創薬科学類がAO入試で求める人材であるかどうか、総合的に判断します。

- (1) 必要な基礎学力を備えているか
- (2) 将来への目的意識が明確で、そこへ向かう意欲・資質を有するか
- (3) 本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち、自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
- (4) 本学における博士後期課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目(大学入試センター試験で課している科目)について、しっかり理解することが求められます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1)現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2)日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3)保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4)保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5)豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6)学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成がおこなわれており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健および福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、^{*}保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

^{*}保健師課程については、平成26年度入学生から選択制としています。詳細は随時金沢大学(医薬保健学域保健学類)Webサイトなどに掲載してまいりますので、保健師を希望している方は確認してください。

【放射線技術科学専攻】

放射線技術科学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の放射線技術科学を担う課題探求能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考する

ことができる人

- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

■推薦入試

面接で医療人としての適格性の評価および調査書による総合評価をします。また、看護学専攻、作業療法学専攻では小論文による資質評価をし、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻では基礎学力を重視します。

■帰国子女入試

理科と英語の学力に加え、成績証明書（調査書）による総合評価をします。

■私費外国人留学生入試

学力検査により本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し、面接を通じて、志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む。）、英語能力及び本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【放射線技術科学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことが望まれます。また、文章を正確に読解し、事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修が望まれます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力が求められます。

【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

国際バカロレア入試のアドミッション・ポリシー

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げ、さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知的基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、豊かな教養と高度な専門性を身につけたいという強い意欲を持つ人を国内外から広く受け入れます。

特に国際バカロレア入試においては、自主的に課題を発見し解決する意欲があり、国際交流に必要な表現力とコミュニケーション能力（英語）を修得して世界に向けて活躍する熱意を持ち、かつ入学を希望する学類のアドミッション・ポリシーに適した人を受け入れます。

2. 推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，アドミッション・オフィス入試（AO入試）及び私費外国人留学生入試

平成30年度における推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，AO入試及び私費外国人留学生入試は，次のとおり実施します。

(1) 推薦入試を行う学域学類等

人間社会学域 **法学類，経済学類，学校教育学類**（石川県教員希望枠，専修枠（国語・社会科・英語教育専修，数学・理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，家政教育専修，特別支援教育専修）），**地域創造学類**（福祉マネジメントコース，環境共生コース，地域プランニングコース），**国際学類**
医薬保健学域 **医学類**（一般枠，特別枠），**保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(2) 帰国子女入試を行う学域学類等

人間社会学域 **人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類，国際学類**
理工学域 **数物科学類，物質化学類，機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類，地球社会基盤学類，生命理工学類**
医薬保健学域 **医学類，薬学類・創薬科学類，保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(3) 国際バカロレア入試を行う学域学類等

人間社会学域 **人文学類，法学類，経済学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類**
理工学域 **数物科学類，物質化学類，機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類，地球社会基盤学類，生命理工学類**
医薬保健学域 **薬学類・創薬科学類，保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(4) アドミッション・オフィス入試（AO入試）を行う学域学類等

医薬保健学域 **薬学類，創薬科学類**

(5) 私費外国人留学生入試

全学域学類で行います。

3. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で，障がい等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，本学に事前相談書等を提出し，相談してください。

なお，体幹及び両上下肢の機能障がい著しく，本学の個別学力検査等において，「代筆解答」を必要とする者は，下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。

(1) 相談締切日 平成29年10月10日（火）

（なお，相談締切日を過ぎてからの相談の場合でも対応はいたしますが，必ずしも要望に沿うことができないこともあります。）

(2) 提出書類

① 事前相談書（次の事項及び連絡先について記載したもの。様式は問いません。）

- ア 志願者氏名
- イ 志望学域学類等及び受験予定の入試区分
- ウ 障がいの種類・程度
- エ 受験について配慮を希望する事項
- オ 修学について配慮を希望する事項
- カ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
- キ 日常生活の状況
- ク その他参考となる事項

② 医師の診断書（上記ウ，エ，オ，キに関する項目も記載してください。）

- ③ 大学入試センター試験の「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入試センター試験を受験する予定の者で、受験上の配慮が認められた者のみ）
- ④ その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係
〒920-1192 金沢市角間町
電話 076-264-5169, 5177~5179（平日午前9時から午後5時まで）
FAX 076-234-4042
E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

4. 問合せ先

電話での問合せは、平日（月曜日～金曜日）午前9時から午後5時の間をお願いします。

また、志願者本人がこの学生募集要項を熟読し、必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

(1) 入学試験関係

入学試験に関する問合せは、下記へ行ってください。

学生部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5169, 5177~5179 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp	FAX 076-234-4042
-------------	------------------	---	------------------

<p>不測の事態が発生した場合の情報提供 不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前は特に注意してください。 金沢大学（入試情報）Webサイト http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/</p>
--

(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問合せは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問 い 合 わ せ 先		
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部 学生課教務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5553
	法学類			5554
	経済学類			5556
	学校教育学類			5881
	地域創造学類			5886
理工学域	国際学類			5887
	数物科学類	理工系事務部 学生課教務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6831
	物質化学類			
	機械工学類			
	フロンティア工学類			
	電子情報通信学類			
地球社会基盤学類				
医薬保健学域	生命理工学類			
	医学類	医薬保健系事務部 学生課医学学務係	〒920-8640 金沢市宝町13番1号	電話 076-265-2809 2125
	薬学類・創薬科学類	医薬保健系事務部 薬学・がん研支援課 薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6827 6828
	保健学類	医薬保健系事務部 学生課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号	電話 076-265-2514 2515

5. 入試情報の提供

- (1) 入学者選抜試験（推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，AO入試及び私費外国人留学生入試）に関する情報を金沢大学Webサイトで提供します。

金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

① 学生募集要項の概略，出願状況等の掲載

期 間	内 容
平成29年9月下旬～	学生募集要項の内容，請求方法の案内
平成29年11月13日（月）～平成30年3月30日（金）	推薦入試Ⅰ，帰国子女入試（経済学類・国際学類），国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試（理工学域）出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）
平成29年12月22日（金）～平成30年3月30日（金）	推薦入試Ⅱ出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）
平成30年 1月26日（金）～平成30年3月30日（金）	帰国子女入試，AO入試及び私費外国人留学生入試（人間社会学域・医薬保健学域）出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）

② 合格者（受験番号）の掲載

日 程	推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	AO入試	私費外国人留学生入試
平成29年 11月16日(木) 午後3時(予定)	人間社会学域 国際学類(第1次選考)	人間社会学域 国際学類(第1次選考)			
平成29年 12月6日(水) 午後3時(予定)	人間社会学域 経済学類(第2次選考) 国際学類(第2次選考) 医薬保健学域 保健学類(推薦入試Ⅰ)	人間社会学域 経済学類 国際学類(第2次選考)	人間社会学域(全学類) 理工学域(全学類) 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類 保健学類		理工学域 (全学類)
平成30年 2月1日(木) 午前10時(予定)	医薬保健学域 医学類(第1次選考)			医薬保健学域 薬学類 (第1次選考) 創薬科学類 (第1次選考)	
平成30年 2月5日(月) 午後4時(予定)	人間社会学域 法学類 学校教育学類 地域創造学類 医薬保健学域 保健学類(推薦入試Ⅱ)				
平成30年 2月7日(水) 午後4時(予定)	医薬保健学域 医学類(第2次選考)			医薬保健学域 薬学類 (第2次選考) 創薬科学類 (第2次選考)	
平成30年 3月7日(水) 午後2時(予定)		人間社会学域 人文学類 法学類 地域創造学類 理工学域(全学類) 医薬保健学域(全学類)			人間社会学域 (全学類) 医薬保健学域 (全学類)

③ 平成30年度入学者選抜試験実施結果の掲載

期 間	内 容
平成30年4月16日(月)～平成31年3月29日(金)	志願者、受験者、合格者及び入学者数
	合格者の最高点・最低点・平均点※ 大学入試センター試験、小論文、面接等の各合計点及び総合点について掲載

※募集人員または合格者が10人未満の学域学類等については、開示は行いません。

(2) 推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・AO入試及び私費外国人留学生入試については、入学試験の個人成績の開示は行いません。

(3) 金沢大学 携帯電話サイト

資料請求方法などの各種入試情報等を、携帯電話で閲覧できます。以下のバーコードにアクセスしてください。



<http://daigaku.jc.jp/kanazawa-u/>

6. 個人情報保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 卒業（修了）生に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会活動への支援等に関する業務
- (8) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試及びAO入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

I. 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

1. 募集人員

学域・学類等		募集人員
人間社会学域	経済学類	10人
	国際学類	15人
医薬保健学域	保健学類	看護学専攻 15人
		作業療法学専攻 5人

- (注) 1. 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一人の志願者について、1つの大学・学部(学域学類)に限られます。
2. 国際学類は、第1次選考と第2次選考により選抜を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。
3. 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
4. 原則として、入学後の転学類・転専攻を認めません。

2. 推薦要件

学域・学類等		推 薦 要 件
人間 社会 学域	経済学類	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）して平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）における学習成績概評がA段階以上（評定平均4.3以上）に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	国際学類	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
医 薬 保 健 学 域	保健学類 看護学専攻	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 作業療法学専攻	<p>以下の1から4のすべての条件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す小論文、面接等すべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	経済学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：推薦入試Ⅰ（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された<i>Economist</i>、<i>Fortune</i>に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。 3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識等を評価します。 調査書・推薦書：平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。</p>
	国際学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 提出書類（調査書、推薦書、志願理由書、外部試験のスコア）によって総合的に判定します。 外部試験：TOEFL-iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT、TEAPのいずれか 3. 第1次選考結果は、平成29年11月16日（木）に本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。 <p>〈第2次選考評価基準〉 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。
医 薬 保 健 学 域	保健学類 看護学専攻	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：健康に関するテーマについて800字以内で論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に判断します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</p>
	保健学類 作業療法学専攻	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：人間・医療に関する科学的思考について800字以内で論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に判断します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</p>

4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等		試 験 期 日 ・ 試 験 時 間
人間 社会 学域	経済学類	平成29年11月25日(土) 小論文Ⅰ 9:30~11:30 小論文Ⅱ 13:00~14:30 平成29年11月26日(日) 面接 9:00~
	国際学類	第2次選考 面接 平成29年11月25日(土) 9:00~
医薬 保健 学域	保健学類 看護学専攻	平成29年11月25日(土) 小論文 10:00~11:30 面接 13:00~
	作業療法学専攻	

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

Ⅱ. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

1. 募集人員

学域・学類等		募集人員		
人間 社会 学 域	法学類	10人		
	学校教育学類	石川県教員希望枠	8人	
		専修枠	国語・社会科・英語教育専修	3人
			数学・理科教育専修	3人
			音楽教育専修	4人
			美術教育専修	3人
			保健体育専修	5人
			家政教育専修	3人
			特別支援教育専修	5人
	地域創造学類	福祉マネジメントコース	5人	
環境共生コース		5人		
地域プランニングコース		5人		
医薬 保 健 学 域	医学類	一般枠	15人	
		特別枠	石川県枠	5人※
			富山県枠	2人
	保健学類	放射線技術科学専攻	5人	
		検査技術科学専攻	6人	
理学療法学専攻		4人		

- (注) 1. 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一人の志願者について、1つの大学・学部（学域学類）に限られます。
2. 医学類〔一般枠〕と〔特別枠〕の両方に出願することはできませんが、〔特別枠〕の志願者に限り、〔一般枠〕を第2志望とすることができます。
3. 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
4. 学校教育学類〔石川県教員希望枠〕の入学後の各専修への配属は、一般入試と同様に2年進級時となります。
また、〔専修枠〕国語・社会科・英語教育専修及び数学・理科教育専修のそれぞれの専修への配属についても、2年進級時となります。
5. 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

※医学類〔特別枠〕（石川県枠）の募集人員については、増員となる可能性があります。

詳細は、11月頃に金沢大学（入試情報）Webサイト（<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>）にてお知らせします。

2. 推薦要件

学域・学類等		推 薦 要 件
人 間 社 会 学 域	法学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	学校教育学類 [石川県教員希望枠]	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにふさわしい資質・適正について責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 卒業後、石川県内の学校園に教員として勤務する強い意志を持つ者
	学校教育学類 [専修枠] 国語・社会科・英語 教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	学校教育学類 [専修枠] 数学・理科教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。

推薦入試Ⅱ

学域・学類等		推 薦 要 件
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 [専修枠] 特別支援教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	地域創造学類 福祉マネジメントコース	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	地域創造学類 環境共生コース	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	地域創造学類 地域プランニングコース	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、人物及び学業成績が優秀で、地域プランニングコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。

学域・学類等		推 薦 要 件
医 薬 保 健 学 域	医学類 [一般枠] [特別枠] (石川県枠) (富山県枠)	以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評が④段階(評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 ※推薦要件の「④」とは、高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階(全体の評定平均値5.0～4.3)に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者です。この場合、調査書に④と標示し、「備考」の欄にその理由を明示してください。
	保健学類 放射線技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 検査技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 理学療法科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

3. 選抜方法

【留意事項】

1. 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課す**すべての教科・科目等を受験**しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す**すべての教科・科目等を受験**しなければ**失格**となります。志望する学域学類等が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験する予定であるか、43ページ以降の「推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表」で必ず確認してください。
 2. 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
 3. 大学入試センター試験の配点等について
 - (1) 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
 - (2) 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
 ただし、『**地理歴史**』『**公民**』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。なお、**第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格**となります。
 また、人間社会学域地域創造学類環境共生コースに関しては、大学入試センター試験の『**地理歴史**』『**公民**』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲で高得点の上位2科目が『**地理歴史**』『**公民**』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。
 （大学入試センター試験の『**地理歴史**』『**公民**』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
 - (3) 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - (4) 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
 なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。
 また、入学者選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されている大学入試センター試験の「外国語」の配点に換算します。
 - (5) 大学入試センター試験の「英語」について、法学類、学校教育学類、地域創造学類、保健学類の推薦入試Ⅱにおいては、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0、GTEC-CBT：820～1100、TEAP：246～304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上、GTEC-CBT：1100以上、TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。
 また、医学類の推薦入試Ⅱにおいては、英語外部試験（TOEFL-iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT、TEAP）のスコアの提出を認め、CEFRのC1相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます（C1相当以上のスコアとは、TOEFL-iBT：95-120、IELTS（アカデミック・モジュール）：7.0以上、GTEC-CBT：1400、TEAP：400に相当します）。選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部試験のスコア）を総合して行います。ただし、英語外部試験の受験は出願資格ではありません。
 なお、英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。
4. 各学域学類等の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてありますので、必ず参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法
人間社会学域	法学類	1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 2. 配点 (1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名 国語（「国語」） 100点 地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」） } から1 ※100点 公民（「倫理、政治・経済」） } (100×1) 数学（「数学Ⅰ・数学A」と } 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1） 100点 外国語（「英語」 ^(注1) 、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1） 125点 合計 425点 [4教科5科目] (2) 面接 400点 〈採点・評価基準〉 面接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【法学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、本ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																							
人間社会学域	学校教育学類 〔石川県教員希望枠〕	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 なお、本学類が課す大学入試センター試験の成績（500点満点）の得点が概ね375点（75%）以上を合格の基準とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">100点</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 500点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲並びに、石川県で教職に就くことの熱意・資質・適性等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点		地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）		} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）		数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点		理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点		外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	100点			合計 500点			〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕	
国語（「国語」）	100点																								
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）		} から1 ※ 100点 (100×1)																							
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）																									
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点																								
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																								
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	100点																								
	合計 500点																								
	〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕																								

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔石川県教員希望枠〕注意事項

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																							
人間社会学域	学校教育学類 〔専修枠〕 国語・社会科・ 英語教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">200点</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2）</td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から2^(注1) ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲、人文・社会科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点		地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2）		} から2 ^(注1) ※ 200点 (100×2)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1）		数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点		理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点		外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点			合計 800点			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	
国語（「国語」）	200点																								
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 から1又は2）		} から2 ^(注1) ※ 200点 (100×2)																							
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」 から1）																									
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点																								
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																								
外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																								
	合計 800点																								
	〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																								

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔専修枠〕国語・社会科・英語教育専修 注意事項

（注1）大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

（注2）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																						
人間社会学域	学校教育学類 [専修枠] 数学・理科教育 専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">国語 (「国語」)</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">100点</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)</td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学 (「数学Ⅰ・数学A」) と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)</td> <td style="text-align: right;">200点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)</td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から2 ※ 200点</td> </tr> <tr> <td>又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語 (「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 700点</td> <td></td> </tr> </table> <p>[5教科7科目] 又は [5教科8科目]</p> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲、自然科学(数学を含む)への関心、教職への意欲・資質・適正等を総合的に評価します。</p>	国語 (「国語」)	100点		地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)		} から1 ※ 100点 (100×1)	公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」)		数学 (「数学Ⅰ・数学A」) と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)	200点		理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)		} から2 ※ 200点	又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)	200点	外国語 (「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	100点			合計 700点	
国語 (「国語」)	100点																							
地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)		} から1 ※ 100点 (100×1)																						
公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」)																								
数学 (「数学Ⅰ・数学A」) と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)	200点																							
理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)		} から2 ※ 200点																						
又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)	200点																							
外国語 (「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	100点																							
	合計 700点																							

【学校教育学類(推薦入試Ⅱ)】[専修枠] 数学・理科教育専修 注意事項

大学入試センター試験の「理科」のうち、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																		
人間社会学域	学校教育学類 [専修枠] 音楽教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、実技、筆記、面接の結果及び提出書類等(音楽活動実績書、調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。 実技における選択受験種目(声楽、ピアノ、作曲)の詳細は、36ページを参照してください。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">国語 (「国語」)</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">100点</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>外国語 (「英語」^(注1))</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 200点</td> <td></td> </tr> </table> <p>[2教科2科目]</p> <p>(2) 実 技</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">新曲視唱</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">50点</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>声楽、ピアノ、作曲から1種目選択</td> <td style="text-align: right;">300点</td> <td></td> </tr> </table> <p>(3) 筆 記</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">楽典</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">50点</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table> <p>(4) 面 接 100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 実 技：演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力等の観点から総合的に評価します。 筆 記：楽典の基礎的知識を検査します。 面 接：志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を試問により評価します。 音楽活動実績書：実技及び面接における評価のための参考資料とします。</p>	国語 (「国語」)	100点		外国語 (「英語」 ^(注1))	100点			合計 200点		新曲視唱	50点		声楽、ピアノ、作曲から1種目選択	300点		楽典	50点	
国語 (「国語」)	100点																			
外国語 (「英語」 ^(注1))	100点																			
	合計 200点																			
新曲視唱	50点																			
声楽、ピアノ、作曲から1種目選択	300点																			
楽典	50点																			

【学校教育学類(推薦入試Ⅱ)】[専修枠] 音楽教育専修 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																		
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 [専修枠] 美術教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、実技、面接（作品提出を含む）の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 実 技：デッサン（用具として、鉛筆、消しゴム及びデッサン用具を持参してください。） 提出作品：自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、面接時に持参できるものとしします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">国語（「国語」）</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; text-align: right;">※ 200点 (200×1)</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1)、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1）</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="vertical-align: middle;">} から1 又は2^(注2)</td> <td style="text-align: right;">※ 200点 (200×1)</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」から2） 又は （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">400点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 実 技 400 点 面 接（作品提出を含む） 200 点</p> <p>〈採点・評価基準〉 実 技：形体に対する表現力を総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、基礎知識・論理的思考能力及び勉学意欲や資質並びに提出作品等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	} から1	※ 200点 (200×1)	外国語（「英語」 ^(注1) 、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1）	地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）	} から1		公民（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」から1）	} から1 又は2 ^(注2)	※ 200点 (200×1)	理科（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」から2） 又は （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）			合計		400点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕	
国語（「国語」）	} から1	※ 200点 (200×1)																		
外国語（「英語」 ^(注1) 、「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」から1）																				
地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）	} から1																			
公民（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」）																				
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」から1）	} から1 又は2 ^(注2)	※ 200点 (200×1)																		
理科（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、 「地学基礎」から2） 又は （「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）																				
合計		400点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕																		

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】[専修枠] 美術教育専修 注意事項

大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の成績は利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績（「理科」の「基礎を付していない科目」については第1解答科目の成績）を利用します。ただし、「理科」については、「基礎を付した科目」2科目の合計得点又は「基礎を付していない科目」の第1解答科目の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

(注2) 大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』、「数学」、「理科」から2科目となるのは、「数学」2科目又は「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

学域・学類等		選 抜 方 法																										
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 〔専修枠〕 保健体育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接及びスポーツ活動実績書の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書は、判定の基礎資料とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <p>パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から2^(注1) ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から1 ※100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（スポーツ活動実績評価を含む） 500点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質、大学入学後の計画等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2	} から2 ^(注1) ※ 200点 (100×2)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	100点	外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※100点 (100×1)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	
		国語（「国語」）	200点																									
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2	} から2 ^(注1) ※ 200点 (100×2)																											
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	100点																											
外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																												
国語（「国語」）	200点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※100点 (100×1)																											
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点																											
外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																												

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔専修枠〕保健体育専修 注意事項

- (1) 「大学入試センター試験で課す教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
 - (3) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目）
 - (4) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注1) パターンAにおける大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』
- (注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																																								
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 〔専修枠〕 家政教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <p>パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から2^(注1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）</td> <td style="text-align: right;">※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注2), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）		200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2	}	から2 ^(注1)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）	※ 200点 (100×2)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）		200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）		100点	外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）		200点			合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	国語（「国語」）		200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	}	から1	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）	※ 100点 (100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）		200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）		200点	外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）		200点			合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕
		国語（「国語」）		200点																																						
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）から1又は2	}	から2 ^(注1)																																								
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）			※ 200点 (100×2)																																							
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）		200点																																								
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）		100点																																								
外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）		200点																																								
		合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																																								
国語（「国語」）		200点																																								
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	}	から1																																								
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）			※ 100点 (100×1)																																							
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）		200点																																								
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）		200点																																								
外国語（「英語」 ^(注2) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）		200点																																								
		合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																																								

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔専修枠〕家政教育専修 注意事項

- (1) 「大学入試センター試験で課す教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
 - (3) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目）
 - (4) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」2科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注1) パターンAにおける大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目〕又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目〕
- (注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																																
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 〔専修枠〕 特別支援教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">100点</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>又は</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 500点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、特別支援教育についての関心並びに勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点		地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）		} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）		数学（「数学Ⅰ・数学A」）と			（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点		理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）			又は	100点		（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）			外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	100点			合計 500点			〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕	
国語（「国語」）	100点																																	
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）		} から1 ※ 100点 (100×1)																																
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）																																		
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																																		
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	100点																																	
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）																																		
又は	100点																																	
（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）																																		
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	100点																																	
	合計 500点																																	
	〔5教科6科目〕又は〔5教科7科目〕																																	

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）〔専修枠〕特別支援教育専修 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法													
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 福祉マネジメント コース	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から1 ※100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1)）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">合計 500点 〔3教科3科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 500点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：高校時代の体験、時事問題への関心、自主的・自発的行動力、入学後の勉学意欲等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）		200点	地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」）	}	から1 ※100点 (100×1)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）	外国語（「英語」 ^(注1) ）		200点			合計 500点 〔3教科3科目〕
国語（「国語」）		200点													
地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」）	}	から1 ※100点 (100×1)													
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」）															
外国語（「英語」 ^(注1) ）		200点													
		合計 500点 〔3教科3科目〕													

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）福祉マネジメントコース 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法													
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 環境共生コース	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」から1）^(注2)</td> <td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">から2 ※200点 又は3^(注1) (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1）^(注2)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注3), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">合計 200点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、環境共生コースでの勉学意欲、課題への関心、資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）			地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」から1） ^(注2)	}	から2 ※200点 又は3 ^(注1) (100×2)	公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1） ^(注2)	数学（「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	外国語（「英語」 ^(注3) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）			合計 200点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕
国語（「国語」）															
地理歴史（「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」から1） ^(注2)	}	から2 ※200点 又は3 ^(注1) (100×2)													
公民（「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」から1） ^(注2)															
数学（「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）															
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）															
外国語（「英語」 ^(注3) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）															
		合計 200点 〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕													

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）環境共生コース 注意事項

(注1) 大学入試センター試験において、「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」, 「外国語」から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

(注2) 大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲で高得点の上位2科目が『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

(注3) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																										
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 地域プランニング コース	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。なお、調査書、推薦書は面接の際に参考とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <p style="margin-left: 20px;">パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から2 ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	100点	外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	
		国語（「国語」）	200点																									
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	100点																											
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																												
国語（「国語」）	200点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点																											
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																												

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）】地域プランニングコース 注意事項

- (1) 「大学入試センター試験で課す教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
 - (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目）
 - (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法													
医 薬 保 健 学 域	医学類 [一般枠]	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）を総合して行います。</p> <p>ただし、志願者数が募集人員に対して2倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考（口頭試問による面接）を実施します。</p> <p>第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成30年2月1日（木）午前10時（予定）に医学類F棟1階掲示板（正面玄関・宝町キャンパス）及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表します。</p> <p>なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学（入試情報）Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付する「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月5日（月）の面接試験開始時刻（午前9時）の20分前までに面接控室に入室してください。</p> <p>本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が、概ね680点（85%）以上を合格の基準とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」と「化学」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800点 [5教科7科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（口頭試問） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉</p> <p>面 接：生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理」と「化学」）	200点	外国語（「英語」）	200点		合計 800点 [5教科7科目]
国語（「国語」）	100点														
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)														
公民（「倫理, 政治・経済」）															
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点														
理科（「物理」と「化学」）	200点														
外国語（「英語」）	200点														
	合計 800点 [5教科7科目]														

【医学類（推薦入試Ⅱ）】[一般枠] 注意事項

大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験（TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）, GTEC-CBT, TEAP）のスコアの提出を認め、CEFR のC1相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます（C1相当以上のスコアとは、TOEFL iBT : 95-120, IELTS（アカデミック・モジュール）: 7.0以上, GTEC-CBT : 1400, TEAP : 400に相当します）。

選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部試験のスコア）を総合して行います。ただし、英語外部試験の受験は出願資格ではありません。

学域・学類等	選 抜 方 法													
<p style="text-align: center;">医 薬 保 健 学 域</p> <p style="text-align: center;">医学類 [特別枠] (石川県枠) (富山県枠)</p>	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）を総合して行います。</p> <p>ただし、志願者数が募集人員に対して3倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考（口頭試問による面接）を実施します。</p> <p>第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成30年2月1日（木）午前10時（予定）に医学類F棟1階掲示板（正面玄関・宝町キャンパス）及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表します。</p> <p>なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学（入試情報）Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付する「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月5日（月）の面接試験開始時刻（午前9時）の20分前までに面接控室に入室してください。</p> <p>本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が、概ね680点（85%）以上を合格の基準とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」と「化学」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800点 [5教科7科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（口頭試問） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉</p> <p>面 接：生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。</p> <p>この選抜（特別枠）で不合格であっても、予め、一般枠を第2志望とした者については、一般枠の選考対象とします。なお、石川県枠と富山県枠の併願は認められません。</p> <p>[特別枠] について、37ページを参照してください。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」と「化学」）	200点	外国語（「英語」）	200点		合計 800点 [5教科7科目]
国語（「国語」）	100点													
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)													
公民（「倫理, 政治・経済」）														
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点													
理科（「物理」と「化学」）	200点													
外国語（「英語」）	200点													
	合計 800点 [5教科7科目]													

【医学類（推薦入試Ⅱ）】[特別枠]（石川県枠・富山県枠） 注意事項

大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験（TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）, GTEC-CBT, TEAP）のスコアの提出を認め、CEFR のC1相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます（C1相当以上のスコアとは、TOEFL-iBT：95-120, IELTS（アカデミック・モジュール）：7.0以上, GTEC-CBT：1400, TEAP：400に相当します）。

選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部試験のスコア）を総合して行います。ただし、英語外部試験の受験は出願資格ではありません。

学域・学類等		選 抜 方 法														
医 薬 保 健 学 域	保健学類 放射線技術科学専攻	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">400点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 1000点 〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む） 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性や放射線技術科学専攻での勉学意欲などを総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と	（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	400点	外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点		合計 1000点 〔5教科7科目〕
国語（「国語」）	100点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1															
公民（「倫理, 政治・経済」）																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	400点															
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点															
	合計 1000点 〔5教科7科目〕															

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】放射線技術科学専攻 注意事項

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法														
医 薬 保 健 学 域	保健学類 検査技術科学専攻	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性を評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と	（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点		合計 900点 〔5教科7科目〕
国語（「国語」）	200点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1															
公民（「倫理, 政治・経済」）																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点															
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点															
	合計 900点 〔5教科7科目〕															

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】検査技術科学専攻 注意事項

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		選 抜 方 法																			
医 薬 保 健 学 域	保健学類 理学療法学専攻	1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。																			
		2. 配点 (1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名																			
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td style="text-align: right;">※ 100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">(100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」^(注1), 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">[5教科7科目]</td> </tr> </table>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点	公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と		（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点		合計 900点		[5教科7科目]	
国語（「国語」）	200点																				
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点																				
公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)																				
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																					
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																				
理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点																				
外国語（「英語」 ^(注1) , 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点																				
	合計 900点																				
	[5教科7科目]																				
		(2) 面 接（調査書、推薦書、志願理由書を含む） 600点																			
		〈採点・評価基準〉																			
		面 接：医療人としての適性を評価します。																			

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】理学療法学専攻 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、23ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

※ 人間社会学域学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修実技及び筆記試験について

学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修の志願者は、「ア 共通受験種目」及び「イ 選択受験種目」を受験してください。

ア 共通受験種目

・実技試験

新曲視唱：8～16小節程度。

視唱は固定ド、又は移動ドで歌ってください。

・筆記試験

楽典

筆記用具は各自用意してください。

イ 選択受験種目

次のa～cの3種目から1種目を選択して受験してください。

a 声楽実技

次の(1)及び(2)からそれぞれ1曲を選択し、2曲を暗譜で歌ってください。

歌詞は原語とします。

(1) 次の3曲から1曲を選択。

G. Paisiello : Nel cor più non mi sento

M. A. Cesti : Intorno all'idol mio

平井康三郎 : 九十九里浜

(2) 上記の3曲以外のイタリア歌曲又はドイツ歌曲の中から3分程度の1曲。

b ピアノ実技

次の(1)及び(2)からそれぞれ1曲を選択し、2曲を暗譜で演奏してください。

(1) 次の①又は②から1曲を選択。

① バッハ：平均律ピアノ曲集第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻から任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

ただし、フーガが3声以上の曲とする。

② ベートーヴェン：任意のピアノソナタより、第1楽章又は終楽章。

(2) 次の作曲家の作品の中から5分～15分程度の1曲（演奏する曲が多楽章の場合は、任意の楽章1つを1曲とみなします。）を選択。

ショパン、シューマン、ブラームス、リスト、ドビュッシー、ラヴェル、ラフマニノフ、スクリャービン

c 作曲実技

創作（創作時間45分程度）

与えられた旋律に対してピアノ伴奏を作曲し、その伴奏部分を演奏してください。

(注) 選択受験種目の受験について

a 声楽実技

(1) 声楽実技は本学が用意する伴奏者のピアノ伴奏で歌ってください。

(2) 各自が提出した楽譜によりピアノ伴奏しますので、演奏する2曲の楽譜（各自が歌う調）の写しを出願書類に添えて提出してください。

b ピアノ実技

(1) 演奏する2曲の楽譜の写しを出願書類に添えて提出してください。

(2) 演奏は繰り返しを省略してください。

c 作曲実技

(1) 創作時間には鍵盤楽器が使用できます。

(2) 筆記用具は各自用意してください。

※旋律課題の例題を公開しています。例題の郵送を希望する者は「作曲実技例題郵送希望」と明記し、返信用封筒（定形封筒に82円切手を貼り付け宛先を記入したもの）を同封の上、下記あてに申し込んでください。

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

※ 医薬保健学域医学類〔特別枠〕について

(石川県枠)

1. 将来、石川県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、石川県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。
また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事することになります。
3. 石川県枠入学者には、石川県から修学資金が貸与されますので、**出願の前に石川県に申請を行い、面接を受けてください。出願時には、選考の結果交付された石川県知事の推薦書を提出してください。**
4. 石川県の面接は、石川県枠志願者が石川県に縁があり、卒業後、石川県内の医療機関に勤務し、石川県の地域医療に貢献する強い意志を持っていることを確認するために行われるものです。
5. 詳細については、下記問い合わせ先に確認してください。

[石川県の修学資金貸与の概要]

貸与額	月額200,000円(予定)
貸与期間	6年間(大学入学から卒業まで)
返還免除	卒業後、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事した場合、返還が免除されます。
申請期間	10月上旬～下旬の予定ですが、事前に下記問い合わせ先まで確認してください。

[問い合わせ先] 石川県健康福祉部地域医療推進室
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
電話 076-225-1449 FAX 076-225-1434

(注) 石川県枠の募集人員については、増員となる可能性があります。

詳細は、11月頃に金沢大学(入試情報)Webサイト(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>)にてお知らせします。

(富山県枠)

1. 将来、富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、富山県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。
また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科(小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科)で9年間診療に従事することになります。
3. 富山県枠入学者には、富山県から修学資金が貸与されますので、**出願の前に富山県に申請を行い、面接を受けてください。出願時には、選考の結果交付された富山県知事の推薦書を提出してください。**
4. 富山県の面接は、富山県枠志願者が卒業後、富山県内の医療機関に勤務し、富山県の地域医療に貢献する強い意志を持っていることを確認するために行われるものです。
5. 詳細については、下記問い合わせ先に確認してください。

[富山県の修学資金貸与の概要]

貸与額	月額100,000円、入学科相当額、授業料相当額(予定)
貸与期間	6年間(大学入学から卒業まで)
返還免除	卒業後、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科(小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科)で9年間診療に従事した場合、返還が免除されます。
申請期間	10月中旬～11月上旬の予定ですが、事前に下記問い合わせ先まで確認してください。

[問い合わせ先] 富山県厚生部医務課医師・看護職員確保対策班
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7
電話 076-444-3218(直通) FAX 076-444-3495
E-mail doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp

4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等			試 験 期 日 ・ 試 験 時 間	
人 間 社 会 学	法学類		平成30年1月27日（土）面 接 9：00～	
	学 校 教 育 学 類	石川県教員希望枠	平成30年1月27日（土）面 接 9：00～	
		専 国語・社会科・英語教育専修		
		専 数学・理科教育専修		
		修 音楽教育専修	平成30年1月27日（土）実 技・筆 記 9：00～ 面 接 13：00～	
		修 美術教育専修	平成30年1月27日（土）実 技 9：30～11：30 面 接 13：00～	
		枠	保健体育専修	平成30年1月27日（土）面 接 9：00～
			家政教育専修	
	特別支援教育専修			
	地 域 創 造 学 類	福祉マネジメントコース	平成30年1月27日（土）面 接 9：00～	
環境共生コース				
地域プランニングコース				
医 薬 保 健 学 域	医学類	一般枠	平成30年2月 5日（月）〔第2次選考〕面 接 9：00～	
		特別枠		
	保健学類	放射線技術科学専攻	平成30年1月27日（土）面 接 9：00～	
		検査技術科学専攻		
		理学療法科学専攻		

（注）試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

Ⅲ 出願手続

1. 出願期間

(1) 推薦入試Ⅰ

平成29年11月1日(水)～11月7日(火) (必着) ※郵送(書留速達)のみ

※ 締切日(平成29年11月7日(火))を過ぎて到着した出願書類のうち、平成29年11月6日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 推薦入試Ⅱ

平成29年12月11日(月)～12月15日(金) (必着) ※郵送(書留速達)のみ

※ 締切日(平成29年12月15日(金))を過ぎて到着した出願書類のうち、平成29年12月14日(木)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

2. 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「推薦入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

なお、出身高等学校等で取りまとめの上提出する場合も、志願者ごとに所定の封筒に入れて郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

3. 出願書類等

本要項に添付してある用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者、国際学類又は医学類(一般枠、特別枠)の第1次選考で不合格となった者には、入学検定料のうち、13,000円を返還します。ついては、入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成30年2月28日(水)までに返還手続を行ってください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志願票 ・ 写真票 ・ 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・ 出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。</p> <p>推薦入試Ⅱ志願者は「平成30センター試験成績請求票 [推薦] 国公立推薦入試用」を入学志願票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず金額の不足なく切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手(受験票等を郵送するためのものです)</p> <p>② 確認はがき：62円分の切手(貼付は任意ですが、切手がない場合は郵送できません)</p> <p>医学類[特別枠]の志願者は、入学志願票の志願学域・学類等欄の「第2志望あり」又は「第2志望なし」に必ずチェックしてください。</p> <p>記入の際は「平成30年度金沢大学入学志願票記入例 推薦入試」(入学願書提出用封筒に同封)を参照してください。</p>
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料振込金証明書貼付用紙 <p>(①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。)</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書(提出用)」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書(本人控)」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協)窓口から振り込んでください。(ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。)振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注)1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>2 ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、平成30年2月28日(水)までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書(本人控)」及び「入学検定料振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <p>担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>

②	調査書	<p>1 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>2 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を、また、これらの書類等を提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書を提出してください。</p>
③	推薦書（様式1）	本要項に添付の用紙により出身学校長が作成し、厳封したもの。
学域学類等により提出を指定する書類		
④	志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）（様式2）	本要項に添付の様式により作成したもの。 （詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。）
	学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物 （推薦入試Ⅰ経済学類）	様式任意。 志願者が所属する学科等のカリキュラム記載箇所が分かるように、付箋を付ける又はマーカー等で識別してください。
	英語外部試験のスコア（写し） （推薦入試Ⅰ国際学類（必須） 推薦入試Ⅱの英語外部試験利用者）	TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT, TEAPのいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。 （注）出願期間最終日（推薦入試Ⅰは平成29年11月7日、推薦入試Ⅱは平成29年12月15日）時点で有効なスコアに限ります。 インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。 出願時に提出した成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。 上記原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。 （推薦入試Ⅱの英語外部試験の利用については、23ページの【留意事項】を参照してください。）
	音楽活動実績書 （様式3） （推薦入試Ⅱ学校教育学類） [専修枠] 音楽教育専修	本要項に添付の様式により作成したもの。
	選択受験種目・曲目等届 （様式4） （推薦入試Ⅱ学校教育学類） [専修枠] 音楽教育専修	本要項に添付の様式により作成したもの。 選択受験種目において、声楽実技又はピアノ実技を選択した者は、演奏する2曲の楽譜の写しを提出してください。 （詳しくは、36ページを参照してください。）
	スポーツ活動実績書 （様式5） （推薦入試Ⅱ学校教育学類） [専修枠] 保健体育専修	本要項に添付の様式により出身学校長が作成したもの。 併せて、記入した成績等を証明する資料を提出してください。志願者が記載されている箇所が分かるように、付箋を付ける又はマーカー等で識別してください。 （詳しくは、スポーツ活動実績書裏面の記入例及び記入上の注意を参照してください。）
	石川県知事又は富山県知事の推薦書 （推薦入試Ⅱ医学類 [特別枠]）	出願時までに石川県又は富山県の修学資金貸与に係る申請を行い、面接等の選考の結果、交付された石川県知事又は富山県知事の推薦書を提出してください。 （詳しくは、37ページを参照してください。）
第一次選考結果通知用封筒 （推薦入試Ⅰ国際学類） （推薦入試Ⅱ医学類）	志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。 切手貼付不要。	

志望する学域学類等により、出願の際に必要な書類が異なりますので、次の表により確認してください。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）出願の際に必要な書類

学域・学類等		①					②	③	④	⑤	⑥	⑦
		入学志願票	写真票	入学検定料振込金証明書 貼付用紙	入学試験関係書類送付用 切手貼付用紙	出願書類受理確認はがき	調査書	推薦書（様式1）	志願理由書（推薦入試・ 帰国子女入試用）（様式2）	英語外部試験のスコア（写し）	第一次選考結果 通知用封筒	その他
人間社会学域	経済学類	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	
	国際学類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
医薬保健学域	保健学類 看護学専攻 作業療法学専攻	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	

- (注) 1. ○印の書類を提出してください。
 2. ※は、原則として本要項に添付の用紙を使用してください。ただし、※のうち「③推薦書」(様式1)及び「④志願理由書(推薦入試・帰国子女入試用)」(様式2)については、様式を金沢大学Webサイトからダウンロードし使用することができます。ダウンロードした「③推薦書」(様式1)又は「④志願理由書(推薦入試・帰国子女入試用)」(様式2)を使用する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。
 金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
 3. 国際学類の「⑤英語外部試験のスコア(写し)」については、16ページと40ページを参照してください。
 4. 国際学類の「⑥第一次選考結果通知用封筒」については、志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。**切手貼付不要。**
 5. 経済学類の「⑦その他」については、学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物を提出してください。

推
薦
入
試
続

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）出願の際に必要な書類

学域・学類等		①					②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		入学志願票	写真票	貼付用紙	入学試験関係書類送付用切手貼付用紙	出願書類受理確認はがき	調査書	推薦書（様式1）	志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）（様式2）	音楽活動実績書（様式3）	選択受験種目・曲目等届（様式4）	スポーツ活動実績書（様式5）	英語外部試験のスコア（写し）	第一次選考結果通知用封筒	その他	
人間社会学域	法学類															
	学校教育学類	石川県教員希望枠														
		専修枠	国語・社会科・英語教育専修								—	—				—
			数学・理科教育専修													
			音楽教育専修								○	○				○
			美術教育専修													—
			保健体育専修	○	○	○	○	○	○	○			○	△	—	○
			家政教育専修													—
			特別支援教育専修								—	—				—
	地域創造学類	福祉マネジメントコース														
		環境共生コース														
		地域プランニングコース														
	医薬保健学域	医学類	一般枠	○	○	○	○	○	○	—	—	—	△	○	—	
特別枠														○		
保健学類		放射線技術科学専攻														
		検査技術科学専攻	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	△	—	—	
	理学療法学専攻															

- (注) 1. ○印の書類を提出してください。
2. ※は、原則として本要項に添付の用紙を使用してください。ただし、※のうち「③推薦書」(様式1)及び「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」(様式2)については、様式を金沢大学Web サイトからダウンロードし使用することができます。ダウンロードした「③推薦書」(様式1)又は「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」(様式2)を使用する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。
金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
3. △印の「⑧英語外部試験のスコア（写し）」は、英語外部試験を利用する者のみ提出してください。（詳しくは23ページ及び40ページを参照してください。）
4. 医学類の「⑨第一次選考結果通知用封筒」については、志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。**切手貼付不要**。
5. 学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修の「⑩その他」については、選択受験科目において声楽実技又はピアノ実技を選択した者は、演奏する2曲の楽譜の写しを提出してください。（詳しくは36ページを参照してください。）
6. 学校教育学類〔専修枠〕保健体育専修の「⑩その他」については、「⑦スポーツ活動実績書」（様式5）に記入した成績等を証明する資料を提出してください。（詳しくはスポーツ活動実績書裏面の記入例及び記入上の注意を参照してください。）
7. 医学類特別枠の「⑩その他」については、出願時までに石川県又は富山県の修学資金貸与に係る申請を行い、面接等の選考の結果、交付された**石川県知事又は富山県知事の推薦書**を提出してください。（詳しくは37ページを参照してください。）

4. 推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表

大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課す教科・科目を必ず受験するように各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

【留意事項】

- 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- 大学入試センター試験の配点等について
 - 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
ただし、『**地理歴史**』『**公民**』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合及び『**理科**』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。なお、**第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格**となります。
また、人間社会学域地域創造学類環境共生コースに関しては、大学入試センター試験の『**地理歴史**』『**公民**』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲で高得点の上位2科目が『**地理歴史**』『**公民**』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。（大学入試センター試験の『**地理歴史**』『**公民**』及び『**理科②**』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
 - 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。
また、入学者選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されている大学入試センター試験の「外国語」の配点に換算します。
- 大学入試センター試験の「英語」について、法学類、学校教育学類、地域創造学類、保健学類の推薦入試Ⅱにおいては、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0、GTEC-CBT：820～1100、TEAP：246～304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上、GTEC-CBT：1100以上、TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。
また、医学類の推薦入試Ⅱにおいては、英語外部試験（TOEFL-iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT、TEAP）のスコアの提出を認め、CEFRのC1相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます（C1相当以上のスコアとは、TOEFL-iBT：95-120、IELTS（アカデミック・モジュール）：7.0以上、GTEC-CBT：1400、TEAP：400に相当します）。選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部試験のスコア）を総合して行います。ただし、英語外部試験の受験は出願資格ではありません。
なお、英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等		志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目	
		教科	科目名		
人間社会学域	法学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 } 1つチェック (地理歴史・公民で2科目 受験する場合は、第1解答 科目として受験すること)	
			公民		「倫理、政治・経済」
			数学		「数学I・数学A」 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」
		外国語	「英語」 ^(注1) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	} から1 } 1つチェック	
計		[4教科5科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目		

【法学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は本ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目	
			教科	科目名		
人間社会学域	学校教育学類	[石川県教員希望枠] [専修枠] 特別支援教育 専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				公民		
			数学		「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	
			外国語		「英語」 ^(注1) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1
計	[5教科6科目] 又は [5教科7科目]			<input type="checkbox"/> 計 科目		

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】[石川県教員希望枠]，[専修枠] 特別支援教育専修 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目	
			教科	科目名		
人間社会学域	学校教育学類	[専修枠] 国語・社会科・ 英語教育専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 又は2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				公民		
			数学		「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	
			外国語		「英語」 ^(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1
計	[5教科7科目]，[5教科8科目]， [6教科7科目] 又は [6教科8科目]			<input type="checkbox"/> 計 科目		

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】[専修枠] 国語・社会科・英語教育専修 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目 又は 「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目			
			教科	科目名				
人間社会学域	学校教育学類	〔専修枠〕 数学・理科教育 専修	国語	〔国語〕	<input type="checkbox"/> 必須			
			地理歴史	〔世界史B〕 〔日本史B〕 〔地理B〕	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)	
				公民				〔現代社会〕 〔倫理〕 〔政治・経済〕 〔倫理、政治・経済〕
			理科	数学	〔数学I・数学A〕 と 〔数学II・数学B〕 〔簿記・会計〕 〔情報関係基礎〕	から1	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つチェック
					物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つチェック
					物理 化学 生物 地学	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つチェック
				又は 物理 化学 生物 地学	から2	又は	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つチェック
外国語	〔英語〕 ^(注1) 〔ドイツ語〕 〔フランス語〕 〔中国語〕 〔韓国語〕	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つチェック				
計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目					

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔専修枠〕数学・理科教育専修 注意事項

大学入試センター試験の「理科」のうち、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
人間社会学域	学校教育学類	〔専修枠〕 音楽教育専修	国語	〔国語〕	<input type="checkbox"/> 必須
			外国語	〔英語〕 ^(注1)	<input type="checkbox"/> 必須
			計	〔2教科2科目〕	<input type="checkbox"/> 計 科目

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】〔専修枠〕音楽教育専修 注意事項

（注1）大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目		
			教科	科目名			
人間社会学域	学校教育学類 [専修枠] 美術教育専修	国語	「国語」	から1	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つチェック	
		外国語	「英語」 ^(注1) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」				
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1	から1 又は ^(注2)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ又は2つチェック (地理歴史・公民から1つ チェックする者で、地理 歴史・公民で2科目受験す る場合は、第1解答科目と して受験すること 「理科」の「基礎を付し ていない科目」から1つ チェックする者で、理科 ②で2科目受験する場合 は、第1解答科目として受 験すること
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」				
		数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」				
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2			
又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から1						
計	[2教科2科目] 又は [2教科3科目]		計	科目			

【学校教育学類(推薦入試Ⅱ)】[専修枠]美術教育専修 注意事項

大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の成績は利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績(「理科」の「基礎を付していない科目」については第1解答科目の成績)を利用します。ただし、「理科」については、「基礎を付した科目」2科目の合計得点又は「基礎を付していない科目」の第1解答科目の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

(注2) 大学入試センター試験において、『「地理歴史」「公民」』、「数学」、「理科」から2科目となるのは、「数学」2科目又は「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

志望する学域・学類等		志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目			
		教科	科目名				
人間社会学域	学校教育学類	[専修枠] 保健体育専修 家政教育専修	パターンA	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 又は2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	から1	
				数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
					又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から1	
				外国語	「英語」 ^(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			計	〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕 〔6教科7科目〕 又は 〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目	
			パターンB	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	から1	
				数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
					と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から1	
又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
外国語	「英語」 ^(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
計	〔5教科7科目〕 又は 〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目				

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】[専修枠]保健体育専修・家政教育専修 注意事項

- 「大学入試センター試験で課す教科・科目」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
 - [[「地理歴史」「公民」と「理科」]で5科目受験している場合（つまり、[[「地理歴史」「公民」]2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - [[「地理歴史」「公民」]の第1解答科目
 - [[「地理歴史」「公民」]の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目）
 - [[「地理歴史」「公民」と「理科」]で4科目受験している場合（つまり、[[「地理歴史」「公民」]2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - [[「地理歴史」「公民」]の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - [[「地理歴史」「公民」]及び「理科」]の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注1) パターンAにおける大学入試センター試験において、[[「地理歴史」「公民」]は、次のいずれかの組合せとします。
[[「地理歴史」から2科目]又は[[「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目]
- (注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目	
			教科	科目名		
人間社会学域	地域創造学類	福祉マネジメントコース	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
			地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	} から1	<input type="checkbox"/>
				公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」
			外国語		「英語」 ^(注1)	<input type="checkbox"/> 必須
					計	[3教科3科目]

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）福祉マネジメントコース 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目			
			教科	科目名				
人間社会学域	地域創造学類	環境共生コース	国語	「国語」	<input type="checkbox"/>			
			地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	} から1 ^(注2)	<input type="checkbox"/>		
				公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	} から1 ^(注2)	<input type="checkbox"/>
			数学		「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1		<input type="checkbox"/>
					理科			「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」
			外国語	「英語」 ^(注3) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		} から1	<input type="checkbox"/>	
				計	[2教科2科目] 又は [2教科3科目]		<input type="checkbox"/> 計 科目	

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）環境共生コース 注意事項

(注1) 大学入試センター試験において、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他科目の1科目の場合のみです。

(注2) 大学入試センター試験の「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲で高得点の上位2科目が「地理歴史」「公民」の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

(注3) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目			
			教科	科目名				
人間社会学域	地域創造学類	地域プランニングコース	パターンA	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須		
				地理歴史	「世界史B」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 2つチェック
					「日本史B」			
					「地理B」			
				公民	「倫理 政治・経済」			
				数学	「数学I・数学A」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック
					「数学II・数学B」			
			「簿記・会計」 「情報関係基礎」					
			理科	「物理基礎」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 2つチェック	
				「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」				
			外国語	又は	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック (理科②で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)	
				「物理」				
				「化学」				
				「生物」 「地学」				
計	〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕 〔6教科7科目〕 又は 〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/>	計 科目				
パターンB	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須					
	地理歴史	「世界史B」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)			
		「日本史B」						
		「地理B」						
	公民	「倫理 政治・経済」						
	数学	「数学I・数学A」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック			
		「数学II・数学B」						
		「簿記・会計」 「情報関係基礎」						
	理科	「物理基礎」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 2つチェック			
		「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」						
外国語	と	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック				
	「物理」							
	「化学」							
	「生物」 「地学」							
計	〔5教科7科目〕 又は 〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/>	計 科目				

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）】 地域プランニングコース 注意事項

- 「大学入試センター試験で課す教科・科目」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
 - 「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目）
 - 「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
医薬保健学域	医学類	[一般枠] [特別枠] (石川県枠) (富山県枠)	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック <input type="checkbox"/> } (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること) <input type="checkbox"/>
			公民	「倫理、政治・経済」	
			数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック <input type="checkbox"/>
			理科	「物理」 と 「化学」	
			外国語	「英語」	<input type="checkbox"/> 必須
計	[5教科7科目]		<input type="checkbox"/> 計 科目		

【医学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験（TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）, GTEC-CBT, TEAP）のスコアの提出を認め、CEFRのC1相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます（C1相当以上のスコアとは、TOEFL-iBT：95-120, IELTS（アカデミック・モジュール）：7.0以上, GTEC-CBT：1400, TEAP：400に相当します）。

選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書、英語外部試験のスコア）を総合して行います。ただし、英語外部試験の受験は出願資格ではありません。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
医薬保健学域	保健学類	放射線技術科学 専攻 検査技術科学 専攻 理学療法科学専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック <input type="checkbox"/> } (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること) <input type="checkbox"/>
			公民	「倫理、政治・経済」	
			数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック <input type="checkbox"/>
			理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	
			外国語	「英語」 ^(注1) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック <input type="checkbox"/>
計	[5教科7科目]		<input type="checkbox"/> 計 科目		

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は43ページの【留意事項】を参照してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

5. 受験票の送付

(1) 推薦入試 I

平成29年11月10日(金)頃発送します。

なお、11月17日(金)までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177~5179

(2) 推薦入試 II

平成29年12月21日(木)頃発送します。

なお、12月28日(木)までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177~5179

IV. 合格者発表

合格者の受験番号を学内掲示場及び金沢大学Webサイトにより発表します。

合格者には、合格通知書・入学手続要項を送付します。出身学校長には、選抜の結果を通知します。

なお、電話等による合否の照会には応じません。

金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

1. 発表日時

(1) 推薦入試 I (経済学類, 国際学類, 保健学類)

……………平成29年12月 6日(水) 午後3時(予定)

(国際学類の第1次選考合格者発表は、平成29年11月16日(木)午後3時(予定)です。第1次選考結果通知書については、志願者全員に送付します。)

(2) 推薦入試 II (法学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 保健学類)

……………平成30年2月5日(月) 午後4時(予定)

(医学類) ……………平成30年2月7日(水) 午後4時(予定)

※ 医学類第1次選考合格者発表について

医学類第1次選考合格者発表…平成30年2月1日(木) 午前10時(予定)

医学類の第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成30年2月1日(木)午前10時(予定)に医学類F棟1階掲示場(正面玄関・宝町キャンパス)及び金沢大学(入試情報)Webサイトにおいて発表します。

なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学(入試情報)Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付する「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月5日(月)の面接試験開始時刻(午前9時)の20分前までに面接控室に入室してください。

金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

2. 発表場所

学域・学類等		発表場所	学域・学類等		発表場所
人間社会学域	法学類	法学類掲示場 (角間キャンパス)	医薬保健学域	医学類	医学類F棟1階掲示場 (正面玄関) (宝町キャンパス)
	経済学類	経済学類掲示場 (角間キャンパス)			
	学校教育学類	学校教育学類掲示場 (角間キャンパス)		保健学類	【推薦入試 I】 保健学類4号館正面玄関 (鶴間キャンパス) 【推薦入試 II】 保健学類1号館正面玄関 (鶴間キャンパス)
	地域創造学類	地域創造学類掲示場 (角間キャンパス)			
	国際学類	国際学類掲示場 (角間キャンパス)			

(注) 合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

(電話 076-264-5169, 5177~5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

V. その他

1. 推薦入試に合格しなかった場合の取り扱い

推薦入試に合格しなかった者のうち、一般入試（前期日程、後期日程）で各学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般入試（前期日程、後期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般入試（前期日程、後期日程）の個別学力検査等を受験することができます。

(1) 一般入試の受験を希望する場合は、次の点に注意してください。

- ① 大学・学部（学域学類）等により、大学入試センター試験で課す教科・科目等が異なる場合があります。
- ② 出願することができるのは、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部（学域学類）です。
したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

(2) 本学の一般入試に出願する場合の概要は、次のとおりです。

① 出願期間

平成30年1月22日(月)～1月31日(水)

書類の提出は郵送に限るものとし、平成30年1月31日(水)までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、平成30年1月29日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 提出書類・その他

「平成30年度金沢大学学生募集要項」（一般入試）を参照してください。

2. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 推薦入試 I

- ① 入学手続期間 平成30年2月8日(木)～2月13日(火)(必着)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送のみとします。持込みによる手続は行いません。**

(2) 推薦入試 II (法学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 保健学類)

- ① 入学手続期間 平成30年2月8日(木)～2月13日(火)(必着)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送のみとします。持込みによる手続は行いません。**

(3) 推薦入試 II (医学類)

- ① 入学手続期間 平成30年2月13日(火)～2月14日(水)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送は2月13日(火)必着, 持込は2月13日(火), 2月14日(水)**

(4) 共通

① 提出書類

- ア 本学受験票(推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない推薦入試) 合格者のみ)
- イ 大学入試センター試験受験票(推薦入試 II (大学入試センター試験を課す推薦入試) 合格者のみ)
- ウ 入学料の振込金証明書
- エ 出願時に提出した英語外部試験のスコアの原本(推薦入試 I 国際学類合格者及び推薦入試 II で英語外部試験のスコア(写し)を提出した合格者のみ)
- オ 卒業証明書(卒業見込みの資格で出願した者のみ)^(注)
(注) 卒業証明書は、入学手続期間ではなく、入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

② 入学料 282,000円(予定)

(注) 上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については87ページを参照してください。

③ 留意事項

- ア 本学の推薦入試合格者は、入学辞退許可を得た場合を除き、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)の個別学力検査(一般入試)を受験しても合格者とはなりません。
- イ 入学を辞退する場合は、出身学校長と連署で2月13日(火)までに入学辞退願(任意様式)により本学学長に願い出て入学辞退許可を得なければなりません。
- ウ 入学手続期間中に入学手続を完了しない者は合格者としての権利を失い、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)の個別学力検査(一般入試)を受験しても合格者とはなりません。
- エ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、86ページから87ページを参照してください。

帰国子女入試

1. 募集人員

学域・学類等		募集人員	
人間 社会 学域	人文学類	若干名	
	法学類	若干名	
	経済学類	若干名	
	地域創造学類	若干名	
	国際学類	若干名	
理 工 学 域	数物科学類	若干名	
	物質化学類	若干名	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	若干名	
	地球社会基盤学類	若干名	
	生命理工学類	若干名	
医 薬 保 健 学 域	医学類	若干名	
	薬学類・創薬科学類	若干名	
	保 健 学 類	看護学専攻	若干名
		放射線技術科学専攻	若干名
		検査技術科学専攻	若干名
		理学療法学専攻	若干名
作業療法学専攻		若干名	

- (注) 1. 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
 2. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への所属は2年進級時からとなります。
 3. 薬学類（6年制）、創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

2. 出願資格

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成28年（2016年）4月から平成30年（2018年）3月までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で平成30年（2018年）3月までに卒業見込みのもの
- (3) 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを、最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成28年（2016年）4月から平成30年（2018年）3月までに修了した者及び修了見込みの者
- (4) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年（2016年）4月以降に授与された者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年（2016年）4月以降に取得した者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年（2016年）4月以降に取得した者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (7) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を平成28年（2016年）4月以降に取得した者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (8) 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を、最終学年を含めて2学年以上継続して在学し、平成28年（2016年）4月から平成30年（2018年）3月までに修了した者及び修了見込みの者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

- (注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含まれません。
2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が1年以上経過した者は出願できません。
3. (7) については、GCE Aレベル (General Certificate of Education, Advanced Level) 試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価は下表のとおりです。

○ 出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価等

学域・学類等		科目数及び評価等
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。
	法学類	
	経済学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。ただし、「生物」、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類・創薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。

[出願資格の確認について]

出願前に出願資格の有無について確認を希望する場合は、下記の期限までに、氏名・生年月日・国籍・学歴 (小学校入学から) を記載した書類、日本の高等学校に相当する学校の卒業 (見込み) 証明書及び成績証明書を学生部入試課入学試験係に送付してください。特にインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。

なお、これらの書類のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

① 期限

人間社会学域 (経済学類, 国際学類)	平成29年 (2017年) 10月12日 (木)
人間社会学域 (人文学類, 法学類, 地域創造学類), 理工学域全学類, 医薬保健学域全学類	平成30年 (2018年) 1月 5日 (金)

② 書類送付先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課入学試験係

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す個別学力検査等のすべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 文 学 類	人 文 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 国語（国語総合） 外国語（「英語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1） 4. 配点：国 語 100点 外国語 100点 面 接 200点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。</p>
	法 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 国語（国語総合）のうちの現代文 4. 配点：国 語 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：① 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 他人の考えを理解する能力を備えているか。 ③ 論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④ 社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。</p>
社 会 学 類	社 会 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：帰国子女入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された<i>Economist</i>、<i>Fortune</i>に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。 3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。 成績証明書（調査書）：平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。</p>
	地 域 創 造 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 小論文：地域創造に関することを論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する基礎的知識、思考能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、勉学意欲や地域創造学類への適格性等を総合的に評価します。</p>
国 際 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の審査、外部試験の成績 外部試験：TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT, TEAPのいずれか 3. 第1次選考結果は、平成29年（2017年）11月16日（木）に本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は、面接の参考とします。 〈第2次選考評価基準〉 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか。 ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。 5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。 	

学域・学類等		選 抜 方 法
理	数物科学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）</p> <p>4. 配点：数 学 450点 面 接 450点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：質問に対する理解度，勉学意欲，基礎的知識等を評価します。 成績証明書（調査書）：理数系科目について，総合的な観点から評価します。</p>
	物質化学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。</p>
工	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	<p>1. 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の3学類で一括選抜を行います。</p> <p>2. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>3. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>4. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>5. 配点：数 学 500点 理 科 400点 外国語 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。</p>
	地球社会基盤学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物，地学基礎・地学から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。</p>
学	生命理工学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理，化学基礎・化学，生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。</p>
域		

学域・学類等		選 抜 方 法
医 薬 保 健 学 域	医学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理）と（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：数 学 200点 理 科 200点（物理（100点）、化学（100点）） 外国語 200点 面 接 100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：勉学意欲と資質等を判断するための多面的試問を行います。 成績証明書（調査書）：履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料とします。</p>
	薬学類・創薬科学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理）と（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：数 学 300点 理 科 600点（物理（300点）、化学（300点）） 外国語 300点 面 接 600点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：大学入試センター試験に代えて学力を評価し、素質・適性を見ます。</p>
	保健学類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 理 科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）</p> <p>4. 配点：理 科 200点 外国語 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。</p>

- (注) 1. 個別学力検査の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」は、リスニングテストを課します。
2. 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」…それぞれ全範囲を出題範囲とします。
「数学B」……………「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
「物理基礎・物理」…「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
「化学基礎・化学」…「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。
「生物基礎・生物」…「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。
「地学基礎・地学」…「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等		試 験 期 日 ・ 試 験 時 間	
人 間 社 会 学 域	人文学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 9:20~10:50 国 語 11:50~13:20 面 接 14:00~
	法学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	国 語 11:50~13:20 面 接 14:30~ (おおよその時間帯を事前に通知します。)
	経済学類	平成29年（2017年） 11月25日（土） 平成29年（2017年） 11月26日（日）	小論文Ⅰ 9:30~11:30 小論文Ⅱ 13:00~14:30 面 接 9:00~
	地域創造学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	小論文 9:20~10:50 面 接 11:50~
	国際学類	平成29年（2017年） 11月25日（土） 第2次選考	面 接 9:00~
理 工 学 域	数物科学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	面 接 13:00~ 数 学 15:10~17:10
	物質化学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:30 数 学 15:10~17:10
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類		
	地球社会基盤学類		
	生命理工学類		
医 薬 保 健 学 域	医学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:50 数 学 15:10~17:10
		平成30年（2018年） 2月26日（月）	面 接 9:00~
	薬学類・創薬科学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:50 数 学 15:10~17:10
		平成30年（2018年） 2月26日（月）	面 接 13:00~
	保健学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~12:50

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

5. 出願期間

書類の提出は、郵送に限るものとし、下記の期間までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**人間社会学域（経済学類、国際学類）は、平成29年（2017年）10月25日（水）まで、人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、理工学域及び医薬保健学域は、平成30年（2018年）1月17日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理します。**

学域・学類等		出 願 期 間
人間社会学域	人文学類	平成30年（2018年）1月16日（火）～1月19日（金）（必着）
	法学類	
	経済学類	平成29年（2017年）10月23日（月）～10月27日（金）（必着）
	地域創造学類	平成30年（2018年）1月16日（火）～1月19日（金）（必着）
	国際学類	平成29年（2017年）10月23日（月）～10月27日（金）（必着）
理工学域	数物科学類	平成30年（2018年）1月16日（火）～1月19日（金）（必着）
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
	医学類	
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	平成30年（2018年）1月16日（火）～1月19日（金）（必着）
	保健学類	

6. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「帰国子女入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、国際学類の第1次選考で不合格となった者には、入学検定料のうち、13,000円を返還します。ついては、入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成30年2月28日（水）までに返還手続を行ってください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志願票 ・ 写真票 ・ 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・ 出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。 （平成30センター試験成績請求票は不要）</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず金額の不足なく切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手（受験票等を郵送するためのものです。）</p> <p>② 確認はがき：62円分の切手（貼付は任意ですが、切手がない場合は郵送できません。）</p> <p>記入の際は「平成30年度金沢大学入学志願票記入例 帰国子女入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
---	--	---

①	<p>・入学検定料振込金 証明書貼付用紙</p> <p>（①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。）</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注)1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、平成30年2月28日（水）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。</p> <p style="text-align: right;">担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
②	卒業証明書及び成績証明書	<p>出願資格(1)、(3)の該当者は、日本の高等学校に相当する出身学校の卒業証明書（又は見込み証明書）及び同出身学校の成績証明書。</p> <p>なお、日本の高等学校若しくは中等教育学校に在籍したことのある場合は、当該在学学校長が作成・厳封した調査書を併せて提出してください。</p> <p>出願資格(2)の該当者は、日本の高等学校若しくは中等教育学校の卒業見込み証明書と当該在学学校長が作成・厳封した調査書及び外国の高等学校に相当する出身学校の成績証明書。</p> <p>出願資格(4)の該当者は、国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書。</p> <p>出願資格(5)の該当者は、一般の大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書。</p> <p>出願資格(6)の該当者は、バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績評価証明書。</p> <p>出願資格(7)の該当者は、GCE A レベルの成績評価証明書（原本）。</p> <p>出願資格(8)の該当者は、当該課程の修了（見込み）証明書、成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類。</p>
③	身上調書（帰国子女入試用）（様式6）	本要項に添付の用紙により作成してください。
④	推薦書（様式1） （法学類・経済学類・国際学類のみ）	本要項に添付の用紙により出身学校長が作成したもの。出身学校長の作成する推薦書に代えて、本要項に添付の自己推薦書（帰国子女入試用）（様式7）を作成して提出してもかまいません。
⑤	志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）（様式2） （法学類・経済学類・国際学類のみ）	本要項に添付の用紙により作成してください。 （詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。）
⑥	第一次選考結果通知用封筒 （国際学類のみ）	志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。 切手貼付不要。
⑦	保護者の海外在留証明書	在外公館又は保護者の所属する機関（あるいは会社）の長が作成したもの。（滞在期間、在留地を明記したもので様式は自由）
⑧	パスポートの写し又は住民票の写し等	日本の国籍又は日本国の永住許可を得ている証明書。
⑨	英語外部試験のスコア（写し） （国際学類のみ）	<p>TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBT, TEAPのいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。</p> <p>(注) 出願期間最終日（平成29年10月27日）時点で有効なスコアに限ります。</p> <p>インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。</p> <p>出願時に提出した成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。</p> <p>上記原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。</p>

(注) 提出書類（厳封された書類を除きます。）のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

7. 受験票の送付

(1) 人間社会学域（経済学類，国際学類）

平成29年（2017年）11月10日（金）頃発送します。

なお，11月17日（金）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には，学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169，5177～5179

(2) 人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域，医薬保健学域

平成30年（2018年）2月8日（木）頃発送します。

なお，2月15日（木）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には，学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169，5177～5179

8. 合格者発表

学域・学類等		発表日時	発表場所	備考	
人間社会学域	人文学類	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）		
	法学類	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）		
	経済学類	平成29年（2017年） 12月6日（水）午後3時（予定）	経済学類掲示場 （角間キャンパス）		
	地域創造学類	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）		
	国際学類	平成29年（2017年） 12月6日（水）午後3時（予定） （国際学類の第1次選考合格者発表は，平成29年11月16日（木）午後3時（予定）です。第1次選考結果通知書については，志願者全員に送付します。）	国際学類掲示場 （角間キャンパス）		
理工学域	数物科学類	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	合格者発表は，受験番号のみを掲示します。 合格者には，合格通知書・入学手続要項を送付します。	
	物質化学類				
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類				
	地球社会基盤学類				
	生命理工学類				
医薬保健学域	医学類	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）		
	薬学類・創薬科学類				
	保健学類				看護学専攻
					放射線技術科学専攻
					検査技術科学専攻
					理学療法学専攻
作業療法学専攻					

(注) 金沢大学Webサイトでも，合格者（受験番号）を発表します。

金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

合格者であるにもかかわらず，合格通知書等が届かない場合は，下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

（電話 076-264-5169，5177～5179，E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp）

9. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

人間社会学域（経済学類，国際学類）

平成30年(2018年) 2月8日(木)～2月13日(火) **(必着)**

(郵送のみとします。持ち込みによる手続きは行いません。)

人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域及び医薬保健学域

平成30年（2018年）3月15日（木）まで

(郵送は3月14日(水)必着，持込みは3月15日(木)のみ)

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

- ① 本学受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 出願時に提出した英語外部試験のスコアの原本（国際学類合格者のみ）
- ④ 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）^(注)

(注) 経済学類，国際学類の入学手続者は，卒業証明書を入学手続期間ではなく，入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

(4) 入学料 282,000円（予定）

(注) 上記の金額は予定額であり，入学時に入学料が改定された場合には，改定時から新入学料が適用されます。なお，授業料の納入については，87ページを参照してください。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については，86ページから87ページを参照してください。

国際バカロレア入試

1. 募集人員

各学域学類とも若干名（医薬保健学域医学類については実施しない）

- (注) (1) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
 (2) 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への配属は，2年進級時からとなります。
 (3) 薬学類（6年制），創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

2. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれにも該当する者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成30年（2018年）3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
 (2) 国際バカロレア資格の取得において，次の①及び②に該当する者又は平成30年（2018年）3月までに該当する見込みの者
 ① 言語Aを日本語により履修し，成績評価が4以上の者
 ただし，人文学類，法学類，経済学類，地域創造学類，国際学類においては，言語B（HL）を日本語により履修し，成績評価が4以上の者を含みます。
 ② 本学の指定する次表の科目を履修し，必要な成績評価を修めた者

学 域	学類・専攻	指定する科目等	
人間社会学域	人文学類	ディプロマスコア35以上	
	法学類	グループ3から1科目（HL成績評価4以上）	
	経済学類	指定なし	
	学校教育学類	グループ2～6から1科目（HL成績評価4以上）	
	地域創造学類	指定なし	
	国際学類	指定なし	
理工学域	数物科学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	物質化学類	数学（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上）	
	地球社会基盤学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	生命理工学類	数学（HL成績評価4以上） 物理，化学，生物から1科目（HL成績評価4以上）	
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	保健学類	看護学専攻	物理，化学，生物から1科目（HL成績評価4以上）
		放射線技術科学専攻	
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
	作業療法学専攻		

※HLはHIGHER LEVELを表す。

- (3) 本学での勉学を強く希望し，合格した場合には入学することを確約できる者

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す小論文、面接・口述試験すべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	人文学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格や志願理由が人文学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 口 述 試 験：多面的な試問（関連する日本語あるいは外国語の文章・資料等を提示して回答を求めることもあります。）を行い、学習意欲などの資質や人文学類で学習を進めるのに必要な知識・理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。</p>
	法学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：① 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 他人の考えを理解する能力を備えているか。 ③ 論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④ 社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。</p>
	経済学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：国際バカロレア入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された <i>Economist</i>, <i>Fortune</i> に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。 3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小 論 文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。</p>
	学校教育学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：成績評価証明書、身上調書、志願理由書等は、平素の学習活動の成果について確認し、勉学意欲・資質等を判断するための評価資料として、面接の参考になります。 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質、学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。</p>
	地域創造学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。 小論文：地域創造に関することを日本語で論述させます。 3. 配点：小 論 文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格を確認する資料、身上調書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小 論 文：地域創造に関わる課題に対する思考能力、分析能力、論述能力を総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、地域創造学類での学習意欲、課題への関心、資質等を総合的に評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法
人間 社会 学域	国際学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格や志願理由が国際学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 面 接：① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか
	理工学域 数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接・口述試験の結果により総合して行います。 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 面接・口述試験：理工学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
医 薬 保 保 健 学 学 域	薬学類・創薬科学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接試験の結果により総合して行います。 〈採点・評価基準〉 面 接：生命科学、生命薬学の領域において、国際的に活躍し、薬学の課題解決に主体的に取り組む勉学意欲と資質等を判断するための諮問を行います。
	看護学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類など（志願理由を含む）：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。
	放射線技術科学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類など（志願理由を含む）：総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、医療人としての適格性や放射線技術科学専攻での勉学意欲などを総合的に評価します。
	検査技術科学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験（提出書類を含む） 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 口 述 試 験：理系能力ならびに医療人としての適性について評価します。
	理学療法学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接（提出書類を含む） 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適性を評価します。
	作業療法学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適性を評価します。

4. 試験期日・試験時間

学域・学类等		試験期日・試験時間		
人間社会学域	人文学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	口述試験 10:00～	
	法学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 9:30～	
	経済学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	小論文Ⅰ 9:30～11:30 小論文Ⅱ 13:00～14:30	
		11月26日(日)	面接 9:00～	
	学校教育学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 10:00～	
	地域創造学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	小論文 9:00～10:30 面接 13:00～	
	国際学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 9:00～	
理工学域	数物科学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接・口述試験 13:00～	
	物質化学類			
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類			
	地球社会基盤学類			
	生命理工学類			
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 10:00～	
	保健学類	看護学専攻	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 9:00～
		放射線技術科学専攻	平成29年(2017年)11月25日(土)	口述試験 9:00～
		検査技術科学専攻	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 9:00～
		理学療法学専攻	平成29年(2017年)11月25日(土)	面接 9:00～
		作業療法学専攻		

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

5. 出願期間

平成29年10月23日(月)～平成29年10月27日(金)

書類の提出は郵送に限るものとし、平成29年10月27日(金)までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**平成29年(2017年)10月25日(水)までの発信局(日本国内)日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

6. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「国際バカロレア入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ・写真票 ・入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。(平成30センター試験成績請求票は不要)</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず金額の不足なく切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>①切手貼付用紙：362円分の切手（受験票等を郵送するためのものです。）</p> <p>②確認はがき：62円分の切手（貼付は任意ですが、切手がない場合は郵送できません。）</p> <p>記入の際は「平成30年度金沢大学入学志願票記入例 国際バカロレア入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
①	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料振込証明書貼付用紙 <p style="font-size: 1.2em;">（①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。）</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注) 1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続きを行うことができますので、平成30年2月28日（水）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続きの際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。</p> <p style="text-align: right;">担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
②	<p>出願資格を証明する書類</p> <p style="font-size: 1.2em;">（国際バカロレア資格証書（写し）及び成績評価証明書等）</p>	<p>【国際バカロレア資格（IBフルディプロマ）取得者】</p> <p>国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。</p> <p>【国際バカロレア資格（IBフルディプロマ）取得見込み者】</p> <p>出身学校長、進路指導担当者が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書（任意様式）及びIBディプロマ「Predicted Grades（予測スコア）」を提出してください。</p> <p>国際バカロレア資格取得見込みで出願した者が条件付合格となった場合は、国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を平成30年（2018年）2月13日（火）までに提出してください。</p> <p>国際バカロレア資格証書の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を期限までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、平成30年（2018年）3月31日（土）までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。</p> <p>また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者で、合計点及び各科目の得点が出願時の見込みの得点よりも下回った場合は、合格を取り消す場合があります。</p>
③	<p>身上調書（国際バカロレア入試用）（様式8）</p>	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。</p>
④	<p>志願理由書（国際バカロレア入試用）（様式9）</p>	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。（詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。）</p>
⑤	<p>パスポートの写し</p>	<p>姓名及び国籍が記載されたページを提出してください。（外国籍の場合のみ）</p>
⑥	<p>在留カード（表・裏）の写し</p>	<p>出願時に日本に居住している者（在留資格が「短期滞在」の者は除く）は、在留カードの写しを提出してください。（外国籍の場合のみ）</p>

(注) 提出書類（厳封された書類を除きます。）のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

7. 受験票の送付

平成29年（2017年）11月10日（金）頃発送します。

なお、11月17日（金）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177～5179

8. 合格者発表（条件付合格者発表）

合格者（条件付合格者）の受験番号を学内掲示場及び金沢大学 Web サイトにより発表します。

合格者には、「合格通知書」とともに「入学手続要項」等を送付します。

国際バカロレア資格の取得見込みで出願し合格した者には、「条件付合格通知書」とともに「入学手続要項」等を送付します。

（注）国際バカロレア資格を取得見込みで出願し合格した者が、国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を平成30年（2018年）2月13日（火）までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が平成30年（2018年）3月31日（土）までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者で、合計点及び各科目の得点が出願時の見込みの得点よりも下回った場合は、合格を取り消す場合があります。

金沢大学（入試情報）Web サイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

(1) 発表日時

平成29年（2017年）12月6日（水）午後3時（予定）

(2) 発表場所

学域・学類等		発表場所	学域・学類等		発表場所
人間社会学域	人文学類	人文学類掲示場 (角間キャンパス)	理工学域	数物科学類	自然科学本館正面玄関 (角間キャンパス)
	法学類	法学類掲示場 (角間キャンパス)		物質化学類	
	経済学類	経済学類掲示場 (角間キャンパス)		機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	学校教育学類	学校教育学類掲示場 (角間キャンパス)		地球社会基盤学類	
	地域創造学類	地域創造学類掲示場 (角間キャンパス)		生命理工学類	
	国際学類	国際学類掲示場 (角間キャンパス)	医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	自然科学本館正面玄関 (角間キャンパス)
		看護学専攻		保健学類4号館正面玄関 (鶴間キャンパス)	
		放射線技術科学専攻			
		検査技術科学専攻			
		理学療法学専攻			
		作業療法学専攻			

（注）合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

（電話 076-264-5169, 5177～5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp）

9. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」等とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

平成30年（2018年）2月8日（木）から2月13日（火）（**必着**）

（**郵送のみとします。持ち込みによる手続きは行いません。**）

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

- ① 本学受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 国際バカロレア資格証書の写し及び I B 最終試験6科目の成績証明書（条件付合格者のみ）

(4) 入学料 282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり，入学時に入学料が改定された場合には，改定時から新入学料が適用されます。なお，授業料の納入については，87ページを参照してください。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については，86ページから87ページを参照してください。

アドミッション・オフィス入試 (AO 入試)

1. 募集人員

学域・学類		募集人員
医薬保健学域	薬学類	3人
	創薬科学類	6人

- (注) 1. 薬学類 (6年制) と創薬科学類 (4年制) の選抜はそれぞれ分けて実施します。
2. 合格者 (入学手続者) が募集人員に満たなかった場合には、一般入試の合格者で補充します。
3. 原則として、入学後の転学類は認めません。

2. 出願資格

次の (1) から (4) のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記 (4) により出願する場合は、出願に先立ち「金沢大学入学資格審査申請要領」により入学資格審査を行いますので、平成30年1月5日 (金) までに郵送にて申請してください。

申請先 〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学学生部入試課入学試験係
電 話 076-264-5169, 5177~5179 (平日午前9時から午後5時まで)
F A X 076-234-4042
E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

「金沢大学入学資格審査申請要領」は、金沢大学Webサイトを参照してください。

金沢大学 (入試情報) Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/sinsa/>

3. 出願要件

次のすべてを満たす者

1. 学業成績が優秀で、人物的に優れ、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点 (1000点満点) が750点 (75%) 以上の者
2. 本学大学院 (薬学専攻博士課程又は創薬科学専攻博士後期課程) までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者や創薬研究者を志す者

大学入試センター試験の利用教科・科目名		配点	大学入試センター試験受験科目チェック欄	
教科	科目名			
国語	「国語」	100点	<input type="checkbox"/>	必須
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	100点	<input type="checkbox"/>	1つチェック (地理歴史・公民で2科目) (受験する場合は、第1解答科目として受験すること。)
公民	「倫理、政治・経済」		<input type="checkbox"/>	
数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	300点	<input type="checkbox"/>	必須 と <input type="checkbox"/>
理科	「物理」 と 「化学」		<input type="checkbox"/>	
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	300点	<input type="checkbox"/>	1つチェック
計	〔5教科7科目〕		1000点	

(注) 大学入試センター試験について

- 大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』の受験科目について、2科目受験している場合は、受験した科目のうち、第1解答科目の成績を利用します。なお、第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。
(『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)
- 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 大学入試センター試験の「数学」2科目及び「理科」2科目については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績(200点満点)を圧縮せずに利用します。
また、入学選抜の配点にあたっては、大学入試センター試験の外国語の配点(300点)に換算します。
- 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL iBT:45~68, IELTS(アカデミック・モジュール)バンド:3.0~6.0, GTEC-CBT:820~1100, TEAP:246~304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL iBT:68以上, IELTS(アカデミック・モジュール)バンド:6.0以上, GTEC-CBT:1100以上, TEAP:304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

4. 選抜方法

選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。

大学入試センター試験で本学類が課す**教科・科目のすべてを受験しなければ、失格**となります。

(1) 第1次選考

提出された調査書、その他の書類(志願理由書、活動報告書、入学意志及び進学意志確認書等)、大学入試センター試験の得点により、出願資格及び出願要件を満たしているか評価します。

なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入試センター試験の得点に加え、提出された調査書、その他の書類(志願理由書、活動報告書、入学意志及び進学意志確認書等)の内容により募集人員の2倍程度になるよう選考します。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者に対し、小論文と面接による試験を実施し、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質、本質への探究心、本学における学修意欲等について多方面から評価します。

提出された調査書、志願理由書、活動報告書、入学意志及び進学意志確認書を面接の参考とします。

配点：小論文 50点

面接 100点

(採点・評価基準)

小論文：課題について論述させ、論理的思考力、判断力、表現力を総合的に評価します。

面接：グループ討論と個人面接を行い、主体性、多様性、協働性に加えて、将来への目的意識、そこへ向かう意欲・資質、本質を理解する探究心・洞察力、問題を見出して解決する積極性等を多面的・総合的に評価します。

5. 試験期日・試験時間

試験日	試験時間	試験科目
平成30年2月5日（月）〔第2次選考〕	9:30～10:30	小論文
	11:00～	面接

- (注) 1. 試験場案内及び受験上の注意を第1次選考合格者に結果通知書と併せて送付します。
2. 2月2日（金）午後1時以降、キャンパス内に試験場への経路案内を、試験場入口（玄関）に試験場案内等を掲示します。

6. 出願期間

平成30年1月15日（月）～1月19日（金）（**必着**）※郵送のみ

※ 締切日（1月19日）を過ぎて到着した出願書類のうち、**平成30年1月17日（水）までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

7. 出願手続

(1) 出願方法（郵送のみ）

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「AO入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者又は第1次選考で不合格となった者には、入学検定料のうち、13,000円を返還します。ついては、入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成30年2月28日（水）までに返還手続を行ってください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

<p>入学志願票等 ・入学志願票 ・写真票 ・入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・出願書類受理確認はがき</p>	<p>1. 本要項に添付の入学願書提出用封筒に同封してある用紙で作成してください。 (1) AO入試志願者は、『平成30センター試験成績請求票「AO 国公立AO入試用』を入学志願票の所定欄に貼り付けてください。 (2) 写真票の所定欄に写真を貼り付けてください。 (3) 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず金額の不足なく切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。 ①切手貼付用紙：362円分の切手（受験票等を郵送するためのものです。） ②出願書類受理確認はがき：62円分の切手（貼付は任意ですが、切手がない場合は郵送できません。） 2. 記入の際は、「平成30年度金沢大学入学志願票記入例 AO入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
<p>① ・入学検定料振込金証明書貼付用紙 （①欄の用紙はB4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。）</p>	<p>3. 入学検定料 17,000円 入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」の所定欄に貼って提出してください。 また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。 〈納入方法〉 納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）の窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。なお、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。 (注) 1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業日です。期日・時間に余裕をもって納入してください。 2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。 ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、平成30年2月28日（水）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。 担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>

②	調査書	<p>1. 高等学校若しくは中等教育学校卒業（卒業見込み）の者</p> <p>(1) 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し厳封したもの</p> <p>(2) 指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は次によってください。</p> <p>①卒業後5年を経過した場合 卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類（単位修得証明書等）。</p> <p>②卒業後20年を経過した場合 卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類。これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書。</p> <p>③廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書。</p> <p>※成績通信簿（原本）を提出する場合は、後日お返ししますので、切手（簡易書留料金）を貼付した郵便番号・住所・氏名を記入済みの返信用封筒を同封してください（返信用封筒は市販のもので結構です）。</p> <p>2. その他の者</p> <p>(1) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験含む。）の合格者は、合格した科目の成績が記載された合格成績証明書をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目（大学入学資格検定の受験科目含む。）を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについては、教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。</p> <p>(4) 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。</p> <p>(5) GCE Aレベル資格取得者は成績評価証明書を提出してください。 本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、次のとおりです。 ※ Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。</p> <p>(6) 国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した（見込み）者は、修了（見込み）証明書、成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体のいずれかにより認定を受けていることを証明する書類を提出してください。</p> <p>(7) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は、修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。</p> <p>(8) 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「金沢大学入学資格認定書」の写しを提出してください。</p> <p>3. 留意点 調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）を提出してください。</p>
---	-----	---

③	志願理由書 (AO入試用) (様式10)	本要項に添付の様式により作成したもの。 記入に当たっては、「志願理由書」(AO入試用)(様式10)に記載の「記入上の注意事項」に従ってください。
④	活動報告書 (AO入試用)(様式11) 及び活動等の証明書類 (写し)	本要項に添付の様式により作成したもの。 提出された活動を証明する書類は返却できません。原本を手元に残したい場合は写しを提出してください。 記入に当たっては、「活動報告書」(AO入試用)(様式11)に記載の「記入上の注意事項」に従ってください。
⑤	入学意志及び進学意志確認書 (様式12)	本要項に添付の様式を用い、自筆でチェック・署名してください。
⑥	第一次選考結果通知用封筒	志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。 切手貼付不要。
⑦	英語外部試験のスコア (写し) (英語外部試験の利用者のみ)	英語外部試験 (TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT 又は TEAP) の成績を利用する者は、TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT, TEAP のいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。 (注) 出願期間最終日 (平成30年1月19日) 時点で有効なスコアに限ります。 インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。 出願時に提出した成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。 原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。 (英語外部試験の利用については、71ページを参照してください。)

8. 受験票の送付

平成30年1月24日(水)頃に志願者あてに発送します。なお、1月31日(水)までに到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、入試課入学試験係(連絡先 076-264-5169, 5177~5179)へ連絡してください。

9. 合格者発表

第1次選考合格者発表

平成30年2月1日(木)午前10時(予定)

自然科学本館正面玄関(角間キャンパス)に第1次選考合格者の受験番号を掲示するとともに、金沢大学(入試情報)Webサイトでも掲載します。受験者全員に第1次選考結果を送付しますが、受験者は金沢大学(入試情報)Webサイトを確認してください。

なお、**電話等による合否の照会には応じません。**

第1次選考合格者は、受験票とともに送付する「受験上の注意」を参照の上、2月5日(月)の小論文開始時刻(午前9時30分)の30分前までに試験室に入室してください。

第2次選考合格者発表

平成30年2月7日(水)午後4時(予定)

自然科学本館正面玄関(角間キャンパス)に合格者の受験番号を掲示するとともに、金沢大学Webサイトでも掲載します。また、合格者にのみ合格通知書及び入学手続要項を送付します。

なお、**電話等による合否の照会には応じません。**

金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

10. AO入試に合格しなかった場合の取り扱い

(1) 一般入試の受験を希望する場合は、次の点に注意してください。

- ① 大学・学部（学域学類）等により、大学入試センター試験で課す教科・科目等が異なる場合があります。
- ② 出願することができるのは「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部（学域学類）です。
したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

(2) 本学の一般入試に出願する場合は、次のとおりです。

① 出願期間

平成30年1月22日(月)～1月31日(水)

書類の提出は郵送に限るものとし、平成30年1月31日(水) **必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**平成30年1月29日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

② 提出書類

「平成30年度金沢大学学生募集要項」（一般入試）を参照してください。

11. 入学手続

入学手続期間、手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「第2次選考合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

平成30年2月13日(火)～2月14日(水) (必着)

(2) 提出先

金沢大学学生部入試課

(3) 入学手続方法

郵送は2月13日(火) 必着、持込は2月13日(火)、2月14日(水)

(4) 提出書類

① 大学入試センター試験受験票

② 入学料の振込金証明書

③ 出願時に提出した英語外部試験のスコアの原本（英語外部試験の成績を利用した合格者のみ）

④ 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）

(注) 卒業証明書は、入学手続期間ではなく、入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

(5) 入学料

282,000円（予定）

(注) 上記の納入金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお授業料の納入については、87ページを参照してください。

(6) 留意事項

① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

② やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、平成30年2月14日(水)までにAO入試入学辞退願（任意様式）を本学学長あてに提出し、その許可を得なければなりません。

③ 入学手続完了者は、入学辞退の許可を得た者を除き、本学及び他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）の一般入試（前期・後期日程試験）を受験しても、合格者とはなりません。

④ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、86ページから87ページを参照してください。

私費外国人留学生入試

1. 募集人員

各学域学類とも若干名

- (注) (1) 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への所属は, 2年進級時からとなります。
- (2) 薬学類 (6年制), 創薬科学類 (4年制) の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

2. 出願資格

日本の国籍を有しない者 (日本国の永住許可を得ている者を除く) で, 次の (1) 及び (2) に該当するもの

- (1) 次のいずれかに該当する者
- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年 (2018年) 3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で平成30年 (2018年) 3月31日までに18歳に達するもの
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者で平成30年 (2018年) 3月31日までに18歳に達するもの
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者で平成30年 (2018年) 3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル (GCE Aレベル) 資格を取得した者で平成30年 (2018年) 3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 外国において, 国際的な評価団体 (ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ, アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズ) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成30年 (2018年) 3月までに修了した者及び修了見込みの者で平成30年 (2018年) 3月31日までに18歳に達するもの
- (2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成28年度 (2016年度) 又は平成29年度 (2017年度) 日本留学試験を受験した者 (薬学類及び創薬科学類を除きます。)

注意事項

入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格 (原則として「留学」) の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが, その場合, 「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また, 短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。

3. 出願条件

- (1) 保健学類検査技術科学専攻については, 日本留学試験において, 指定された科目を受験し, その合計点の得点率が60%を超えていること, 並びに, TOEFLにおいて, 得点率が60%を超えていること。
- (2) 上記「2.出願資格 (1) ⑤」については, GCE Aレベル (General Certificate of Education, Advanced Level) 試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価は下表のとおりです。

○ 出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価等

学域・学類等		科目数及び評価等
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。 ただし, 「生物」, 「経済」, 「地理」, 「政治」, 「歴史」, 「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格 (E評価以上) していること。

学域・学類等		科目数及び評価等
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」,「化学」,「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類・創薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」,「物理」,「化学」の3科目を含むものとする。
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」,「化学」,「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。

[出願資格の確認について]

出願前に出願資格の有無について確認を希望する場合は、下記の期限までに、氏名・生年月日・国籍・学歴（小学校入学から）を記載した書類、日本の高等学校に相当する学校の卒業（見込み）証明書及び成績証明書を送付してください。特にインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。

なお、これらの書類のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

① 期限

人間社会学域（全学類）、医薬保健学域（全学類）	平成30年（2018年）1月5日（金）
理工学域（全学類）	平成29年（2017年）10月12日（木）

② 書類送付先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課入学試験係

4. 実施教科・科目等

学域・学類等		日本留学試験の利用する教科・科目等 (注1参照)						英語能力	学力検査等 (注5参照)	
		日本語	総合科目	数学	理 科 物理 化学 生物					出題 言語
人間 社会 学域	人文学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択				日本語 又は 英語	TOEFL	国語 (国語総合) の内の現代文 面接
	法学類 経済学類						日本語	小論文と面接		
	学校教育学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択 又は ◎ コース1 又は コース2 より選択				日本語 又は 英語	TOEFL	国語 (国語総合) 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接
	地域創造学類 国際学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択			◎ ◎ ◎ 2科目選択	日本語		
	理工学 域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 (注3参照) 地球社会基盤学類 生命理工学類	◎ ◎ ◎ ◎ ◎		◎ コース2 ◎ コース2 ◎ コース2 ◎ コース2	◎ ◎ ◎ ◎			日本語 又は 英語	TOEFL
◎ ◎ ◎ 2科目選択										
医学 保健 学域	医学類 薬学類 創薬科学類 (注4参照)	◎		◎ コース2	◎ ◎ ◎ 2科目選択			日本語	TOEFL	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理と化学基礎・化学) 面接 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理と化学基礎・化学) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接 理科 (物理基礎・物理、化学基礎・ 化学、生物基礎・生物から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理、化学基礎・ 化学、生物基礎・生物から1) 面接
◎		◎ コース2	◎ ◎ ◎ 2科目選択	日本語	6月 又は 11月					

- (注) 1. ◎は必須科目、○は選択科目を示します。
 2. 日本留学試験は、平成28年度(2016年度)又は平成29年度(2017年度)の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。
 (ただし、理工学域においては、出願期間の関係上、平成29年度(2017年度)11月の成績は利用できません。)
 3. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への所属は2年進級時からとなります。
 4. 医薬保健学域の薬学類(6年制)と創薬科学類(4年制)の選抜は一括で実施します。各学類への所属は、3年次後期からとなります。
 5. 学力検査等の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。
 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」…それぞれ全範囲を出題範囲とします。
 「数学B」……………「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
 「物理基礎・物理」…「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
 「化学基礎・化学」…「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。
 「生物基礎・生物」…「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。
 「地学基礎・地学」…「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

5. 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、平成28年度（2016年度）又は平成29年度（2017年度）日本留学試験（薬学類及び創薬科学類を除く）、学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

成績証明書（調査書）は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

志望する学域学類等が課す日本留学試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	人文学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。 3 配点：日本留学試験 85点 TOEFL 25点 国語 40点 面接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。
	法学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。 3 配点：日本留学試験 85点 TOEFL 25点 国語 100点 面接 90点 〈採点・評価基準〉 面 接：日本語による試問を通じて、日本語能力、法学・政治学に対する勉学意欲と資質を判断します。
	経済学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：日本語の文章を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面 接：高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。
	学校教育学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 面 接：本学類としての適格性を評価します。（なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的としています。）
	地域創造学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、小論文（100点）、面接（100点）、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する基礎的知識、思考能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、勉学意欲や地域創造学類への適格性等を総合的に評価します。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	国際学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点：日本留学試験、TOEFL 110点 小論文 100点 面接 90点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせ、英語の知識とともに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。 面 接：以下の点を中心に評価します。 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか</p>
理 工 学 域	数物科学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	物質化学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	<p>1 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の3学類で一括選抜を行います。</p> <p>2 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>3 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
学 域	地球社会基盤学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点：日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	生命理工学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点：日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法
医 薬 保 健 学 域	医学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。 3 配点：日本留学試験 850点 TOEFL 120点 数学 200点 理科 200点 面接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適性を評価します。
	薬学類・ 創薬科学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査（数学300点、理科600点、外国語300点）、面接の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 面 接：大学入試センター試験に代えて、素質・適性・学力並びに日本語能力を面接により評価します。
	看護学専攻	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 3 配点：日本留学試験 500点 TOEFL 200点 外国語 200点 理科 200点 面接 400点 〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性を評価します。
	放射線技術科学専攻	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 3 配点：日本留学試験 850点 TOEFL 120点 数学 200点 理科 200点 面接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性、放射線技術科学専攻での勉学意欲、及び日本語能力などを総合的に評価します。
	検査技術科学専攻	1 大学入試センター試験を免除します。 2 出願条件 日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、並びに、TOEFLにおいて、得点率が60%を超えていること。そのうえで、以下の試験を行います。 3 選抜は、学力検査、面接の結果を総合して行います。 4 配点：数学 200点 理科 200点 面接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性、検査技術科学専攻での勉学意欲、及び日本語能力などを総合的に評価します。
	理学療法学専攻	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。 3 配点：日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点 〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力及び医療人としての適性を評価します。
作業療法学専攻	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。 3 配点：日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点 〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力及び医療人としての適性を評価します。	

6. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等		試 験 期 日 ・ 試 験 時 間			
人 間 社 会 学 域	人文学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	国 語 面 接	11：50～13：20 14：00～	
	法学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	国 語 面 接	11：50～13：20 14：30～	
	経済学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	小論文 面 接	9：20～10：50 11：50～	
	学校教育学類 【国語選択】	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 国 語 面 接	9：20～10：50 11：50～13：20 14：20～	
	学校教育学類 【数学選択】	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 面 接 数 学	9：20～10：50 11：50～ 14：20～15：50	
	学校教育学類 【理科選択】	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 理 科 面 接	9：20～10：50 11：50～12：50 14：20～	
	地域創造学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	小論文 面 接	9：20～10：50 11：50～	
	国際学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	小論文 面 接	9：20～11：20 13：30～	
理 工 学 域	数物科学類	平成29年（2017年） 11月25日（土）	面 接*		
	物質化学類				
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類				
	地球社会基盤学類				
	生命理工学類				
医 薬 保 健 学 域	医学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	理 科 数 学 面 接*	11：50～13：50 15：10～17：10	
	薬学類・創薬科学類	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 理 科 数 学	9：20～10：50 11：50～13：50 15：10～17：10	
		平成30年（2018年） 2月26日（月）	面 接*		
	保 健 学 類	看護学専攻	平成30年（2018年） 2月25日（日）	外国語 理 科 面 接	9：20～10：50 11：50～12：50 14：10～
		放射線技術科学専攻	平成30年（2018年） 2月25日（日）	面 接 理 科 数 学	9：20～ 11：50～12：50 15：10～17：10
		検査技術科学専攻	平成30年（2018年） 2月25日（日）	面 接 理 科 数 学	9：20～ 11：50～12：50 15：10～17：10
		理学療法学専攻	平成30年（2018年） 2月25日（日）	面 接	9：20～
作業療法学専攻		平成30年（2018年） 2月25日（日）	面 接	9：20～	

*面接時間等の詳細は受験票送付の際に通知します。

7. 出願期間

書類の提出は郵送に限るものとし、下記の期間までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**人間社会学域（全学類）及び医薬保健学域（全学類）は、平成30年（2018年）1月17日（水）まで、理工学域（全学類）は平成29年（2017年）10月25日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

学域・学類等	出 願 期 間
人間社会学域（全学類） 医薬保健学域（全学類）	平成30年（2018年）1月16日（火）～1月19日（金）（必着）
理工学域（全学類）	平成29年（2017年）10月23日（月）～10月27日（金）（必着）

8. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「私費外国人留学生入試」を赤マルで囲んで書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志願票 ・ 写真票 ・ 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・ 出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙で作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。 （平成30センター試験成績請求票は不要）</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず金額の不足なく切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手（受験票等を郵送するためのものです。） ② 確認はがき：62円分の切手（貼付は任意ですが、切手がない場合は郵送できません。）</p> <p>記入の際は「平成30年度金沢大学入学志願票記入例 私費外国人留学生入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料振込金証明書貼付用紙 <p>（①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。）</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>（注）1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。 2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、平成30年2月28日（水）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。</p> <p>担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>

②	修了証明書及び成績証明書	<p>出願資格 (1) ①の該当者 教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）証明書（原本）及び成績証明書（原本）を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格 (1) ②の該当者 国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格 (1) ③の該当者 一般の大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格 (1) ④の該当者 バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格 (1) ⑤の該当者 GCE Aレベルの成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格 (1) ⑥の該当者 当該課程の修了（見込み）証明書（原本）、成績証明書（原本）及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類を提出してください。</p>						
③	日本留学試験の成績通知書（写し） （薬学類・創薬科学類は除く）	<p>平成28年度（2016年度）又は平成29年度（2017年度）の6月及び11月に実施された日本留学試験のうち、いずれか1回分の成績通知書の写しを提出してください。</p> <p>なお、上記4回の試験で複数回受験した場合は、その内1回分のみ成績通知書の写しを提出してください。ただし、理工学域においては、出願期間の関係上、平成29年度（2017年度）11月の成績は利用できません。</p>						
④	TOEFL成績評価証明書	<p>各学域学類（人間社会学域学校教育学類を除く）志願者は、下記の出願期間最終日時点で有効なTOEFL-iBT又はTOEFL-PBTの受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report）（表・裏）の写しを提出してください。</p> <p>View Scoreをプリントアウトしたものは、成績評価証明書として認めません。</p> <p>なお、入学手続時には受験者用控えスコアレポートの原本を提出することになりますので、それまで大切に保管してください。</p> <table border="1" data-bbox="568 1050 1442 1137"> <thead> <tr> <th>学域・学類</th> <th>出願期間最終日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間社会学域（全学類）・医薬保健学域（全学類）</td> <td>平成30年（2018年）1月19日（金）</td> </tr> <tr> <td>理工学域（全学類）</td> <td>平成29年（2017年）10月27日（金）</td> </tr> </tbody> </table>	学域・学類	出願期間最終日	人間社会学域（全学類）・医薬保健学域（全学類）	平成30年（2018年）1月19日（金）	理工学域（全学類）	平成29年（2017年）10月27日（金）
学域・学類	出願期間最終日							
人間社会学域（全学類）・医薬保健学域（全学類）	平成30年（2018年）1月19日（金）							
理工学域（全学類）	平成29年（2017年）10月27日（金）							
⑤	身上調書（私費外国人留学生用） （様式13）	本要項に添付の用紙により作成してください。						
⑥	パスポートの写し	姓名及び国籍が記載されたページを提出してください。						
⑦	在留カード（表・裏）の写し	出願時に日本に居住している者（在留資格が「短期滞在」の者は除く）は、在留カードの写しを提出してください。						

(注)・上記のうち、①～⑥は全志願者が提出するものです。⑦は、該当する者のみが提出するものです。

- ・提出書類（厳封された書類は除きます。）のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

9. 受験票の送付

(1) 人間社会学域（全学類）、医薬保健学域（全学類）

平成30年（2018年）2月8日（木）頃発送します。

なお、2月15日（木）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177～5179

(2) 理工学域（全学類）

平成29年（2017年）11月10日（金）頃発送します。

なお、11月17日（金）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177～5179

10. 合格者発表

学域・学類	発表日時	発表場所	備考
人間社会学域（全学類）	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	合格者発表は、受験番号のみを掲示します。 合格者には、合格通知書・入学手続要項を送付します。
理工学域（全学類）	平成29年（2017年） 12月6日（水）午後3時（予定）	自然科学本館正面玄関 （角間キャンパス）	
医薬保健学域（全学類）	平成30年（2018年） 3月7日（水）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	

（注）金沢大学Webサイトでも合格者（受験番号）を発表します。

金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。
問合せ先 学生部入試課入学試験係
（電話 076-264-5169, 5177～5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp）

11. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

人間社会学域（全学類）、医薬保健学域（全学類）

平成30年（2018年）3月27日（火）まで

（郵送は3月26日（月）必着、持込みは3月27日（火）のみ）

理工学域（全学類）

平成30年（2018年）2月8日（木）～2月13日（火）**（必着）**

（郵送のみとします。持込みによる手続は行いません。）

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

- ① 本学受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ TOEFL受験者用控えスコアレポート（Test Taker Score Report）の原本（ETSより郵送されたスコアレポート）
- ④ 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）^{（注）}

（注）理工学域の入学手続者は、卒業証明書を入学手続期間ではなく、入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

(4) 入学料 282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については、87ページを参照してください。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、86ページから87ページを参照してください。

1. 入学時に必要な経費

(1) 入学科

282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり，入学時に入学科が改定された場合には，改定時から新入学科が適用されます。

(2) その他必要な経費は，次のとおりです。なお，医薬保健学域薬学類・創薬科学類の入学で3年次後期から薬学類（6年制）に所属となった者は，2年分を改めて納めることになります。

学域・学類	学生教育研究災害 傷 害 保 険 料
人間社会学域（全学類）（4年分） 理工学域（全学類）（4年分） 医薬保健学域（薬学類 ^(※) ・創薬科学類，保健学類）（4年分） （※）帰国子女入試，国際バカロレア入試及び私費外国人留 学生入試を受験した入学者	3,300円
医薬保健学域（医学類）（6年分） 医薬保健学域（薬学類）（6年分）AO入試を受験した入学者	4,700円

詳細は合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

2. 入学科免除・入学科徴収猶予

(1) 対象者

【入学科免除】

- ① 入学前1年以内（平成29年4月から平成30年3月の間）に学資負担者が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学科の納入が著しく困難である者
- ② 入学前1年以内（平成29年4月から平成30年3月の間）に学資負担者が会社の倒産等やむを得ず失職したことにより，入学科の納入が著しく困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で入学科免除を願い出たものに対し，選考の上，入学科の全額又は半額を免除することがあります。

【入学科徴収猶予】

- ① 経済的理由によって納入期限までに入学科の納入が困難であり，かつ学業成績が優秀である者
- ② 入学前1年以内（平成29年4月から平成30年3月の間）に，学資負担者が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，納入期限までに納入が困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で，入学科徴収猶予を願い出たものに対し，選考の上，入学科の徴収を猶予することがあります。

(2) 申請手続

入学科免除又は入学科徴収猶予を申請する場合は，入学手続書類とともに，下記申請期間（入学手続期間）中に学生部入試課へ提出してください。

- ① 申請書類は金沢大学Webサイトからダウンロードして使用してください。（平成30年1月中旬に掲載予定です。）
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/exemption_grace
- ② 郵便で請求する場合は，封筒の表に「入学科免除（又は入学科徴収猶予）申請書類請求」と朱書きし，申請理由，本人氏名，電話番号，受験学域学類等名，受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号，住所，氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに205円分の切手を貼付）を同封し91ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は，485円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

区 分	申請期間（入学手続期間）	提 出 書 類
○推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱ（法学類，学校教育学類，地域創造学類，保健学類） ○帰国子女入試（経済学類，国際学類） ○国際バカロレア入試 ○私費外国人留学生入試（理工学域全学類）	2月8日（木）～13日（火）	・入学科免除申請書 又は入学科徴収猶予申請書 ・申請書に添付されている証明書に記載してある各種証明書
○推薦入試Ⅱ（医学類） ○AO入試	2月13日（火）～14日（水）	
○帰国子女入試 （人文学類，法学類，地域創造学類，理工学域全学類，医薬保健学域全学類）	3月15日（木）まで	
○私費外国人留学生入試（人間社会学域全学類，医薬保健学域全学類）	3月27日（火）まで	

(3) 注意事項

- ① 入学料免除及び入学料徴収猶予の申請者には、選考結果の通知があるまで入学料の納入を猶予します。
ただし、入学料免除申請者が結果通知前に入学料を納入した場合は、免除申請を辞退したものとして取り扱います。
- ② 選考の結果、半額免除又は不許可になった者が、告知された日から14日以内に入学料を納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
入学料免除申請者が半額免除又は不許可になった場合には、入学料徴収猶予を申請することができます。
入学料徴収猶予が許可された場合においても、平成30年9月28日（金）までに入学料を納入しなければなりません。納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
- ③ 入学料徴収猶予においては、選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。

3. 授業料の納入

授業料の納入方法は、本学指定の銀行が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」になっています。手続きについては、合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を参照してください。
授業料前期（第1・2クォーター）分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

（注）上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4. 授業料免除

(1) 授業料免除の対象者

- ① 経済的理由によって授業料を納入することが困難であり、かつ、学業成績が優秀である者
- ② 入学前1年以内（平成29年4月から平成30年3月の間）に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で、授業料免除を願った者に対し、選考の上、納入すべき前期分授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。

(2) 授業料免除申請手続

授業料免除を申請する場合は、下記申請期間中に申請書類を学生部学生支援課へ提出してください

- ① 申請書類は金沢大学Webサイトからダウンロードして使用してください。
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/tuition_waiver（平成30年1月中旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「授業料免除申請書類請求」と朱書きし、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学類等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに205円分の切手を貼付）を同封し91ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は485円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

申請期間	申請書類の提出先	提出書類
平成30年3月12日（月）から4月2日（月）まで（必着） 土曜日、日曜日及び祝日を除き 午前9時から午後4時まで	合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照	・授業料免除申請書 ・申請書に添付されている説明書に記載してある各種証明書

(3) 注意事項

- ① 授業料免除を申請する場合も「預金口座振替依頼書」は必ず提出してください。
- ② 授業料免除申請者は、選考結果の通知があるまで授業料の納入を猶予しますので、その間、授業料の預金口座振替は行いません。
- ③ 選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。

5. 金沢大学学生特別支援制度

本学に在籍する学生の学習・研究意欲を向上させるとともに、学生生活において国際交流・社会貢献に対する意欲を引き出すことを目的とした、本学独自の支援制度があります。

詳細は、各担当係にお問い合わせください。

(http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/special_support 参照)

6. 奨学金

本学で扱っている奨学金には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間育英団体の奨学金があります。主に学業成績が優秀かつ学資支弁の困難な学生を対象とし、学力・家計状況等を審査の上、貸与（または給付）の可否が決定されます。

(1) 日本学生支援機構の奨学金

【貸与型奨学金】

学業成績が優秀で、経済的理由により就学に困難がある方の経済支援を目的とする貸与型の奨学金です。貸与終了後は返還の義務が生じ、貸与期間は原則、所属する課程の標準修業年限です。

① 奨学金の種類等（平成29年度 学域学類生）

種 別	通学区分	貸与月額	備 考
第 一 種 (無利子貸与)	自宅	30,000円	貸与月額は申込時に選択（貸与中に変更可能）。
		45,000円	
	自宅外	30,000円	
		51,000円	
第 二 種 (有利子貸与)	なし	30,000円	
		50,000円	
		80,000円	
		100,000円	
		120,000円	

(ア) 第二種奨学金の利子は年利3%を上限としており、貸与終了後、貸与総額に賦課されます。

(イ) 第一種・第二種の両方（併用貸与）を申し込むことも可能ですが、審査基準はより厳しくなります。

② 申込方法

貸与希望者は、学生部学生支援課が実施する申込説明会に参加してください。日時等の詳細は、入学後に奨学金関係の掲示板等で確認してください。

③ 大学等奨学生採用候補者に決定されている方について

高等学校または中等教育学校在学中に日本学生支援機構奨学金の予約採用を申し込み、「大学等奨学生採用候補者」に決定されている方は、「採用候補者決定通知【進学先提出用】」及び「返信用封筒（角形2号、要切手貼付）」を学生部学生支援課へ提出した上で、「進学届」をインターネット入力により提出してください。詳細は「入学手続要項」および掲示板等で確認してください。

【給付型奨学金】

高等学校等において優れた生徒であって、大学等への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な生徒に対して、大学等への進学を後押しすることを目的とする給付型の奨学金です。

通学区分	給付月額
自宅	20,000円
自宅外	30,000円

※大学での申込みの機会はありません。（申込みは進学前に高等学校等で行う必要があります。）

※授業料の全額免除を受ける場合は、給付月額が減額されます。

※社会的養護が必要な人は、別途一時金として入学時に24万円を支給します。

※毎年度、翌年度の給付継続について申請し、資格について審査（適格認定）を受けることになります。成績不振等の場合、奨学金の交付が止まること等があります。

(2) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学へ募集があった奨学金は掲示板等でお知らせしますので、希望する場合は、入学後に奨学金関係の掲示板を確認し、掲示の指示に従って申し込んでください。

また、掲示板等でお知らせする奨学金以外にも、各種団体が直接、個人応募を受け付けている場合があります。

(3) 外国人留学生の奨学金

私費外国人留学生には、主に次のような奨学金の制度があります。募集内容、応募手続等の詳細については、国際機構支援室又は各学類の学務係に問い合わせてください。

奨学団体名	奨学金の内容	支給期間
日本学生支援機構	月額 48,000円	1年
小林国際奨学財団	月額 150,000円	正規課程修了まで
ロータリー米山記念奨学会	月額 100,000円	最長2年
平和中島財団	月額 100,000円	1年
共立国際交流奨学財団	月額 100,000円又は60,000円	2年又は1年
佐川留学生奨学会	月額 100,000円	2年

(注) 奨学金の金額は、平成29年7月1日現在の実績（学域在学者対象分のみ）

7. 学生寮

本学には、次の学生寮（学生寄宿舎）があります。食事は、各寮とも平日の夕食だけです。入浴は、寮内で決定する入浴日程に従ってください。

寮名	男 子	女 子
	せんがくりょう 泉学寮	はくばいりょう 白梅寮
完成年月日	昭和40年2月27日	昭和39年3月31日
所在地	〒921-8031 金沢市野町5丁目8番10号	〒921-8034 金沢市泉野町2丁目13番1号
定員	168人	140人
募集人員	約40人	約40人
構造	鉄筋コンクリート4階建	
居室	13.2㎡（約8畳）、1部屋に2人、机、椅子、本棚、物入れ付き	
共同施設	食堂、自炊室、洗面・洗濯室、浴室、娯楽室、静養室など	
生活費	寄宿料	月額 700円
	食費	夕食 300～400円（希望者のみ）
	運営費	月額 約7,000円（光熱水料、その他）

(1) 入寮願の請求

下記のいずれかの方法で入寮願を取り寄せてください。

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロード

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>

- ② 郵送による請求

返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm 受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し、92円切手を貼付）を学生支援課学生相談係あて送付してください。

【入寮願請求及び照会先】

91ページの「12 申請書類等の請求及び照会先」を参照してください。

(2) 入寮願の提出期間等

提出期間	入寮願の提出先	選考結果の発表
平成30年2月9日（金）～平成30年2月15日（木）[必着]	請求及び照会先と同じ	平成30年3月8日（木）

提出期間後の入寮希望者については、欠員がある場合に限り入寮願の提出が可能ですが、提出期間が過ぎている場合は学生部学生支援課学生相談係（電話：076-264-5167）まで欠員の有無について確認願います。

(3) 提出書類の注意事項

入寮願提出時には、主たる家計支持者の所得に関する証明書類が必要となります。「平成29年分の源泉徴収票又は確定申告の写（平成29年分の確定申告前の場合は平成28年分の所得・課税証明を添付）」を添付してください。

なお、両親が共に有職者である場合は、父母両方の所得に関する証明書類を添付してください。

8. 学生留学生宿舎

本学には、国際交流を促進しグローバル人材を育成することを目的に、外国人留学生と日本人学生が1つのユニット(男女別)で生活するシェアハウス型の学生寄宿舍「北溟」があります。

「北溟」は空室がある場合に限り、入居者を募集します。入居申請方法等詳細については、金沢大学Webサイトをご覧ください。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>

9. アルバイト

学資補助のためやむを得ずアルバイトをする学生のために、金沢大学生生活協同組合においてアルバイトの紹介業務を行っています。

10. 保健管理センター

保健管理センターでは、学生の心身の健康の増進を図るため、医師、カウンセラー(臨床心理士)、看護師、保健師等によって、定期健康診断、健康相談、学生相談、応急措置等を行っています。また、学生の心身の成長をサポートするため、学生支援プログラムを提供しています。

11. 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が、①国内外における教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故、②通学中の事故・学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合の救済のため、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。

本学では、学生生活における事故等に備え、必要な保険に加入することを強く推奨しています。

12. 携帯型パソコンの用意について

(1) 本学での学習、研究生活

インターネットが広く普及した現代のネットワーク社会で活躍できるように、本学の教育目標では、理系・文系を問わず「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線LAN整備が完了し、ポータルサイト「アカンサスポータル」がネットワーク利用の入り口となっています。

入学生の皆様にはそれぞれ携帯型パソコンをご用意いただき、ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り、パソコンから履修登録、授業での教員との連絡、e-learning教材による自習、レポートの提出、成績確認等を行います。更に、健康診断結果や、就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡がネットワークを介して行われます。入学後すぐに、全学生必修科目「情報処理基礎」が開講され、各自の携帯型パソコンを教室でネットワークに接続し、情報ネットワークの安全な利用方法、各学類毎に必要なソフトウェアの利用方法等を学びます。

特別な事情がない限り、本学入学時までに携帯型パソコンをご用意ください。

(2) 携帯型パソコンの条件

平成30年度入学生のための携帯型パソコンの必要条件、金沢大学生協から提供予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については、合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たしているパソコンをお持ちの場合には新たにパソコンを購入いただく必要はありませんが、新規購入を検討される場合には、合格通知に同封される情報をご確認の後に購入してください。

(3) マイクロソフト包括(全学)ライセンスについて

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア(Office等)についての包括(全学)ライセンス契約を平成30年度も継続する予定です。この場合、本学の新入学(編入)生は、Officeソフトウェア一式が無償で提供されますので、購入の必要はありません。

(4) 携帯型パソコンの無償貸与について

経済的事情により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には、大学所有のパソコンを半年間(1回のみ更新可能)無償貸与します。入学料免除申請者及び入学料徴収猶予申請者を対象学生としますので、これらの申請時に貸与の申し込みを行ってください。

13. 申請書類等の請求及び照会先

項 目	請 求 及 び 照 会 先
○入 学 料 免 除 ○入 学 料 徴 収 猶 予 ○授 業 料 免 除	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生支援係 電話 076-264-5164
○奨 学 金 (私費外国人留学生を除く)	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生支援係 電話 076-264-5170
○奨学金(私費外国人留学生)	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学国際機構支援室 留学生係 電話 076-264-5193
○学 生 寮	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生相談係 電話 076-264-5167
○学生教育研究災害傷害保険	〒920-1192 金沢市角間町 保健管理センター 事務室 電話 076-264-5254

その他の情報

1. 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学 域 等	交 通 機 関
か く ま ま 間	事務局(学生部) 理工学域 医薬保健学域 (薬学類・創薬科学類)	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学自然研前」下車 (JR金沢駅から約35分)
	人間社会学域	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学」終点下車 (JR金沢駅から約40分)
た か ら ま ち 宝 町	医薬保健学域 (医学類)	JR金沢駅兼六園口(東口)又は金沢港口(西口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「湯涌温泉」「東部車庫(橋場町経由)」「北陸大学」「金沢学院大学(橋場町経由)」行きのいずれかに乗車
つ る ま ま 間 鶴	医薬保健学域 (保健学類)	「小立野」又は「石引広見」下車 (JR金沢駅から約20分)

(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。

各種様式

様式	推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	AO入試	私費外国人留学生入試
入学志願票等	○	○	○	○	○
入学検定料振込依頼書	○	○	○	○	○
推薦書（様式1）	○	△	×	×	×
志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）（様式2）	○	△	×	×	×
音楽活動実績書 （学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修推薦入試用） （様式3）	△	×	×	×	×
選択受験種目・曲目等届 （学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修推薦入試用） （様式4）	△	×	×	×	×
スポーツ活動実績書 （学校教育学類〔専修枠〕保健体育専修推薦入試用） （様式5）	△	×	×	×	×
第一次選考結果通知用封筒 （国際学類推薦入試・帰国子女入試，医学類推薦入試， 薬学類・創薬科学類 AO 入試用）	△	△	×	○	×
身上調書（帰国子女入試用）（様式6）	×	○	×	×	×
自己推薦書 （法学類，経済学類，国際学類帰国子女入試用） （様式7）	×	△	×	×	×
身上調書（国際バカロレア入試用）（様式8）	×	×	○	×	×
志願理由書（国際バカロレア入試用）（様式9）	×	×	○	×	×
志願理由書（AO入試用）（様式10）	×	×	×	○	×
活動報告書（AO入試用）（様式11）	×	×	×	○	×
入学意志及び進学意志確認書（AO入試用）（様式12）	×	×	×	○	×
身上調書（私費外国人留学生入試用）（様式13）	×	×	×	×	○

※ ○は，必要な様式です。△は学類により必要な様式です。×は必要としません。
 様式は，本冊子より直接取り外してご使用ください。
 なお，入学志願票等及び入学検定料振込依頼書は入学願書提出用封筒に同封しています。

(様式1)

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 推薦書

卒業見込 (卒業)学科名	
ふりがな 志願者氏名	男・女
生年月日	平成 年 月 日生

上記の者は、推薦入試・帰国子女入試（法学類，経済学類，国際学類）の推薦要件・出願資格に該当するものと認め、下記のとおり責任を持って推薦します。

平成 年 月 日

所在地
高校名

学校長氏名

印

推薦する学域学類等		コース・専攻・ 枠・専修				
学域	学類					
推薦理由						
※法学類の志願者については、「推薦入学者受入方針」にある「求める人材」に該当することがわかるように記入してください。						
学業状況						
成績 順位	第1学年	人中	位	第2学年	人中	位
	第3学年	人中	位	第4学年 修業年限4年の場合のみ	人中	位
人物						
特別活動，課外活動等						
その他						

裏面の「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。

推薦書記入上の注意

(全学類共通)

全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の提出書類以外の資格証や賞状の写等は添付しないでください。 ・出願書類受理後は、いかなる理由があっても記載事項の変更はできません。 ・パソコンでの作成も可。様式は、本学（入試情報）Web サイトからもダウンロードできます。パソコンで様式を作成する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。 <p>http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/</p>
推薦する学域学類等	<ul style="list-style-type: none"> ・コース・専攻・枠・専修について、該当する項目に○を付け、名称を適切に記入してください（学校教育学類[専修枠]の場合は、専修名を省略せずに記入してください。また、医学類[特別枠]の場合は、石川県枠・富山県枠の区分も省略せずに記入してください）。
学 業 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・科目の学力所見及び勉学の自発性、計画性、理解力、創造的思考、能力等について記入してください。
成 績 順 位	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。ただし、複数の学科等がある場合は、本人の属する類型又は学科全体での成績順位としてください。
人 物	<ul style="list-style-type: none"> ・人物、性格、適性等について記入してください。
特別活動・課外活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム、生徒会、学校行事、文化・体育・スポーツ活動等について記入してください。 ・校外での活動（任意団体、ボランティア等）があれば、その加入団体名及び活動状況を記入してください。 ・学業に関係していない資格（取得見込みも可）があれば記入してください。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状況、生活態度、将来の希望、その他特記事項等について記入してください。

(帰国子女入試法学類の志願者のみ)

推 薦 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国子女入試法学類の志願者は、本欄を記入する必要はありません。
------------------	--

(推薦入試経済学類の志願者のみ)

全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物を添付してください。 ・卒業見込学科名は学校独自の類やコース等ではなく、正式名称で記入してください。
学 業 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・学業に関係している資格（取得見込みも可）があれば記入してください。

(様式3)

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 音楽活動実績書

氏名		性別	男・女 (○で囲む)
選択する種目	a 声楽 ・ b ピアノ ・ c 作曲 (○で囲む)		
習学歴			
活動歴			
発表会・コンクール等の名称	年度	主催者 (開催会場)	成績・曲目等
個・団		()	
個・団		()	
個・団		()	

- (注) 1. 習学歴の欄には、指導を受けた教師等の個人名を記入することはできません。
2. 活動歴の欄には、学校の内外で行ってきた音楽活動について記入してください。
3. 発表会・コンクール等の活動があれば、優先順位の高いものを3つまで記入してください。
個人活動の場合は「個」、団体活動の場合は「団」を○で囲んでください。

平成30年度 金沢大学 音楽活動実績書 (記入例)

氏名	金沢太郎		性別	Ⓐ男・女(○で囲む)
選択する種目	Ⓐ声楽・bピアノ・c作曲(○で囲む)			
習学歴 6歳からピアノを習い始める。小学校時代は吹奏部に所属してクラリネットも吹いた。中学・高校とコーラス部に所属し、高校2年から声楽の個人レッスンを受け始め、今日に至る。				
活動歴 6歳から13歳まで毎年ピアノの発表会に出演した。高校のコーラス部ではバスパートのパートリーダーを務め、文化祭の校内合唱コンクールでは指揮者としてクラス合唱をまとめた。 文化祭の演劇部公演で音楽を担当し、選曲のほかピアノソロ曲を創作し使用した。校内合唱祭でディズニー作品を女声四部合唱に編曲し演奏した。				
発表会・コンクール等の名称	年度	主催者(開催会場)	成績・曲目等	
NHK 全国学校音楽コンクール 石川県大会 個・Ⓐ団	平成 〇〇	NHK (金沢歌劇座)	金賞	
全国高等学校総合文化祭 Ⓐ個・団	平成 〇〇	高等学校文化連盟 (愛知県芸術劇場)	Gia il sole dal Gange Ombra mai fu	
個・団		()		

- (注) 1. 習学歴の欄には、指導を受けた教師等の個人名を記入することはできません。
 2. 活動歴の欄には、学校の内外で行ってきた音楽活動について記入してください。
 3. 発表会・コンクール等の活動があれば、優先順位の高いものを3つまで記入してください。
 個人活動の場合は「個」、団体活動の場合は「団」を○で囲んでください。

※受験番号	
-------	--

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 選択受験種目・曲目等届

学校教育学類〔専修枠〕音楽教育専修の志願者は、実技の（「イ 選択受験種目」のa～cの3種目）から1種目を選択し、該当欄に選択曲目等を記入してください。

※学生募集要項36ページを参照してください。

イ 選択受験種目

a 声楽実技

(1) 作曲者 () 曲名 ()

(2) 作曲者 () 曲名 ()

b ピアノ実技

(1) ①又は②のいずれかを選択

①バッハ 平均律 第 () 巻より 第 () 番 () 調

②ベートーヴェン ソナタ第 () 番 作品番号 ()
第 () 楽章

(2) 作曲者 ()

曲名 ()

c 作曲実技

志願者氏名		性別	男・女
-------	--	----	-----

(様式5)

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 人間社会学域 学校教育学類[専修枠] 保健体育専修 推薦入試用
スポーツ活動実績書

ふりがな 志願者氏名	男 ・ 女	平成	年	月	日生	
特技とするスポーツ競技種目						
身長			cm	体重		kg

主なスポーツ活動実績（主要なものを3つ記入し、裏面の記入上の注意「その他」の1に記載の書類を必ず添付してください。）

	大会名・主催者	種別	開催年月・開催地	大会区分	成 績	出場者数	出場に至る選抜方法等
1							
2							
3							

記入責任者氏名

印 志願者との関係（ ）

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

所在地

学校名

学校長氏名

印

記入例及び記入上の注意

主なスポーツ活動実績（記入例）

	大会名・主催者	種別	開催年月・開催地	大会区分	成績	出場者数	出場に至る選抜方法等
例1	平成〇〇年度全国高等学校総合体育大会 バレーボール競技 全国高等学校体育連盟 主催	女子 団体	平成〇〇年〇月 大阪市舞州障害者 スポーツセンター	全国大会	予選リーグを勝ち抜き、 決勝トーナメント戦出 場、2回戦敗退、計3試 合にレギュラー選手（リ ベロ）として出場。ベスト レシーバー賞獲得。 詳細は別紙資料。	15チーム	石川県大会予選上位2 チームが北信越大会に出 場。5県10チームのう ち、優勝、準優勝チーム が全国大会に出場した。
例2	平成〇〇年度石川県高 等学校総合体育大会 「体操」競技 石川県高等学校体育連 盟・石川県教育委員会 主催	男子 体操競技 個人総合	平成〇〇年〇月 石川県小松市木場 潟スポーツ研修セ ンター	県内大会	体操（体操競技）男子個 人総合3位入賞（別紙資 料参照）	8名参加	県内高等学校選手の参加 申し込みによる（予選な し）。
例3	平成〇〇年度全国高等 学校ダンスフェスティ バル (社)日本女子体育連 盟・神戸市・神戸市教 育委員会主催	男女団体 創作コン クール部門	平成〇〇年〇月 神戸文化ホール	全国大会	創作コンクール部門の予 選に出場した。(資料参 照)	80チーム	全国高等学校チームの参 加申し込みによる（予選 なし）。

記入上の注意

- 「大会名・主催者名」には、志願者本人が高等学校（中等教育学校の後期課程）3年間に行ったスポーツ活動の中で、最も優秀と思われる実績を得た活動順に、正式大会名称及び主催者名を記入してください。
- 「種別」には、「男・女」、「団体」「個人」「総合」、「シングルス」「ダブルス」「級別」「部門」等の区分を記入してください。また同一大会で団体・個人の双方に出場したり、複数種目に出場した場合にはそれぞれ別々の欄に記入してください。
- 「開催年月・開催地」には、大会が開催された年月、及び開催都道府県、市町村名、競技会場名の順に記入してください。
- 「大会区分」には、「国際大会」、「全国大会」、北信越地域などの「地域ブロック大会」、都道府県などの「県内大会」、「校内大会」などの区分を記入してください。
- 「成績」には、当該大会における成績と志願者の果たしたポジションや役割、入賞・受賞記録等をできるだけ具体的に記入してください。団体競技の場合は、本人が出場したかどうかについても記入してください。
- 「出場者数」には、当該大会における出場チーム数（個人の場合には出場者数）を記入してください。
- 「出場に至る選抜方法等」には、当該大会へ出場にするにあたって、どのような選抜方法（予選等）があったかを記入してください。予選なしの場合には「予選なし」と記入してください。

その他

- 記入された3つの成績を証明する資料（大会記録、報道記事等）の写し及び出場していたことを証明する資料（エントリー表、スコアブック等）の写しを必ず添付してください。
 - 志願者が記載されている箇所が分かるように、付箋を付ける又はマーカー等で識別してください。
 - 3つの活動実績のうちどれに該当するかわかるように、成績を証明する資料に1から3の番号又は大会名を記入してください。（資料に大会名が記載されている場合、記入不要）
- 「記入責任者」は志願者の所属する高等学校教員に限ります。
- 「志願者との関係」には、「〇〇部顧問教員」「クラス担任」等を記入してください。

平成30年度(2018年度) 金沢大学
身 上 調 書 (帰国子女入試用)

志 願 学 域 学 類 ・ 専 攻	学 域	学 類	専 攻 (保健学類のみ)
ふりがな		性 別	生 年 月 日 生
氏 名		男・女	(2018年4月1日現在 歳)
志 願 者 現 住 所	〒 - - 携帯電話 (- -) 電 話 (- -) Email アドレス ()		
上記以外の 連 絡 先 (日本国内)	氏 名		続 柄
	〒 - - 携帯電話 (- -) 電 話 (- -)		

渡航理由	
------	--

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項
	初等教育 (小学校)		年 月から 年 月まで				
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
中等教育 (中学校) (高等学校)		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
	初等教育及び中等教育の 通算した年数						
高等学校 卒業以降		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					

資格取得	・国際バカロレア資格 ・アビトゥア資格 ・バカロレア資格(フランス共和国) ・GCE A レベル資格 (取得した資格に○をしてください。)	取得年月	年 月
------	--	------	-----

記入上の注意

- 本人の自筆で、黒ボールペンで記入してください。
- 理工学域の機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の志願者は、志願学類名を理工3学類と記入してください。
- 年号は、西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 渡航理由の欄は、外国に滞在及び教育を受けることとなった理由を簡潔に記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学時から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄には、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 高等学校卒業以降については、高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
- 「転学」、「編入学」、「飛び級」、「繰上げ卒業」又は「退学」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

平成30年度(2018年度) 金沢大学
身上調書 (国際バカロレア入試用)

志願学域・学類等	学域	学類	専攻 (保健学類のみ)
フリガナ		性別 男・女	生年月日 年 月 日生 (2018年4月1日現在 歳)
氏名	アルファベット	(Family Name) (First Name) (Middle Name)	国籍 日本在留資格 (外国籍で日本居住者のみ) ※2017年10月出願時点
	〒 -		
志願者住所	携帯電話 (- -) 電話 (- -) Email アドレス ()		
上記以外の連絡先 (日本国内)	氏名	志願者との関係	
	〒 - 携帯電話 (- -) 電話 (- -)		

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項
	学 校 教 育 歴	初等教育 (小学校)	年 月から 年 月まで				
年 月から 年 月まで							
中等教育 (中学校) (高等学校)		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
初等教育及び中等教育の 通算した年数							
高等学校 卒業以降	年 月から 年 月まで						
	年 月から 年 月まで						

<input type="checkbox"/> 国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得 (取得年月: 年 月)
<input type="checkbox"/> 2017年11月受験予定

記入上の注意

1. 本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
2. 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
3. 外国籍で、出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
4. 上記以外の連絡先 (日本国内) の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先 (住所・携帯電話番号・電話番号) を記入してください。
5. 学校教育歴の欄は、小学校入学時から記入してください。
6. 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
7. 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
8. 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
9. 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

身上調書（国際バカロレア入試用）記入例

(様式8)

平成30年度(2018年度) 金沢大学
身上調書（国際バカロレア入試用）

志願学域・学類等		人間社会 学域 国際 学類		専攻(保健学類のみ)	
フリガナ		〇〇 〇〇 〇〇 〇〇		性別	〇 男 〇 女
氏名		アルファベット		生年月日	1998年 5月 10日生 (2018年4月1日現在 19歳)
志願者現住所		〒XXX-XXXX 東京都〇〇区〇〇丁目〇番地〇〇マンション101号室		国籍	日本在留資格 (外国籍で日本居住者のみ) 日本 ※2017年10月出願時点
上記以外の連絡先(日本国内)		氏名 〇〇 〇〇		志願者との関係	父

区分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学校名	学校所在国	特記事項
初等教育(小学校)	2005年 4月 から 2011年 3月 まで	6	6	〇〇小学校	日本	
	年 月 から 年 月 まで					
中等教育(中学校(高等学校))	2011年 4月 から 2014年 3月 まで	3	3	〇〇中学校	日本	
	2014年 4月 から 2017年 3月 まで	3	3	〇〇高等学校	日本	
	年 月 から 年 月 まで					
初等教育及び中等教育の通算した年数		12	12			
高等学校卒業以降	年 月 から 年 月 まで					

国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得 (取得年月: 2017 年 / 月)
 2017年11月受験予定

【全体 (共通)】

- ・本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- ・年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。

【志願学域・学類等】

- ・志望する学域・学類名を記入してください。
- ・理工学域の機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類の志願者は、理工3学類と記載してください。
- ・医薬保健学域保健学類の志願者は、志望する専攻名についても記入してください。

【志願者氏名】

- ・氏名が漢字表記できない場合は、氏名欄を自国語で記入し、アルファベット欄についても記入してください。

【日本在留資格】

- ・外国籍で、出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、該当する在留資格名を記入してください。
- ・出願時点で在留資格を有しない場合は、「なし」と記入してください。

【志願者現住所】

- ・志願者の現住所を記入してください。

【上記以外の連絡先 (日本国内)】

- ・志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者(保護者等)の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。

【学校教育歴】

- ・小学校入学から記入してください。

【正規の修学年限】

- ・当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。

【修業年数】

- ・実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。

【初等教育及び中等教育の通算した年数】

- ・正規の修学年限の欄及び修業年数の欄ともに、通算した年数を記入してください。

【高等学校卒業以降】

- ・高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
 - 大学、短期大学、専門学校等の当該国の教育制度において、正規の修学年限が定められている場合は、正規の修学年限の欄及び修業年数の欄に年数を記入してください。
 - 当該国の教育制度においては、正規の修学年限が特に定められていない学校の場合は、正規の修学年限の欄は、記入不要です。

【特記事項】

- ・「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

- ・国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得、2017年11月受験予定のいずれかにチェックしてください。
- ・国際バカロレア資格取得者は、取得年月についても記入してください。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類
アドミッション・オフィス (AO) 入試
活動報告書

志願者に関する事項

ふりがな		生年月日		性別	男・女
志願者氏名		出身高校			

1. 部活動・ボランティア活動等

	時 期	具体的な取組み内容
例	平成xx年 x月x日～x月x日	〇〇県〇〇市の〇〇施設に行き、〇〇・・・〇〇の作業を行った。
①		
②		
③		

2. 取得資格・検定等

	時 期	資格または検定の名称	級種, スコア等
例	平成xx年x月x日	第〇回TOEIC Listening & Writing Test	650点
①			
②			
③			

3. 表彰・顕彰等

	時 期	大会やコンクールの名称	表彰・顕彰の名称 (あれば)
例	平成xx年 x月x日～x月x日	第〇回〇〇理科コンクール (〇〇主催)	3位 (銅賞)
①			
②			
③			

4. 留学・海外活動の経験

	時 期	受入れ先, 国	具体的な活動内容
例	平成xx年 x月x日～x月x日	〇〇〇, アメリカ合衆国	ホームステイをしながら、平日の午前中は〇〇で語学の授業を受講した。
①			
②			
③			

5. その他

(科学オリンピック等における成績や、上記以外に特記すべき諸活動等について記載してください。)

	時 期	具体的な取組み内容
例	平成xx年 x月x日～x月x日	日本〇〇オリンピックの本選に出場した (入賞できず)。
①		
②		
③		

以上の記載内容に間違いはありません。

平成 年 月 日

志願者氏名 (自署)

※記入上の注意事項

- ・本書類は、自筆（鉛筆書き不可）で記入してください。
- ・コンピュータでの入力を希望する場合は、本学（入試情報）Web サイト（<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>）から専用の様式ファイルをダウンロードできます。入力時に、枠を広げたりフォントサイズを変えたり書式を変更することはできません。必要事項を入力後、両面印刷（使用する用紙の色は問いません）して、志願者氏名と日付を自筆で記入してください。
- ・項目1～5の活動状況は、各々について優先順位の高いものを3つまで記入することができます。
- ・各々の活動と成績を証明できる書類等がある場合は、写しを添付してください。(返却しませんので注意してください。) SSH・SGHのカリキュラム内の活動等については、高等学校の関係資料でも可。
- ・高等学校入学以前の活動等も記載できます。

※受験番号	
-------	--

※印の欄は記入しないでください

平成30年度 金沢大学 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類
アドミッション・オフィス (AO) 入試
入学意志及び進学意志確認書

この学生募集 (AO入試) では、志望する学類 (薬学類または創薬科学類) での学修を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる志願者を求めています (「出願資格」参照)。

また、志願者は、本学大学院 (薬学専攻博士課程または創薬科学専攻博士後期課程) までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者や創薬研究者を志すことを「出願要件」としています。

上記内容に基づいて、下欄の2つに同意できる場合は、それぞれの□にチェックしてください。

- 私は、本入試に合格した場合、志望した学類に入学します。
- 私は、本入試に合格した場合、博士課程または博士後期課程まで進学します。

平成 年 月 日

志願者氏名 (自署)

平成30年度(2018年度) 金沢大学 身上調書 (私費外国人留学生入試用)

志願学域・学類等	学域	学類	専攻 (保健学類のみ)
志願者氏名	フリガナ		性別
	自国語		国籍
	アルファベット	(Family Name) (First Name) (Middle Name)	日本在留資格 (日本に居住している場合)
	生年月日	年 月 日生 (2018年4月1日現在 歳)	※2018年1月出願時点
志願者 現住所	〒 - 携帯電話 (-) 電話 (-) Email アドレス ()		
上記以外の 連絡先 (日本国内)	氏名	志願者との関係	
	〒 - 携帯電話 (-) 電話 (-)		
志願者の 自国の住所			

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項	
	初等教育 (小学校)		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで						
中等教育 (中学校) (高等学校)			年 月から 年 月まで					
			年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで						
	初等教育及び中等教育の 通算した年数							
高等学校 卒業以降		年 月から 年 月まで						
		年 月から 年 月まで						

資格取得	・国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格(フランス共和国) ・GCE A レベル資格 (取得した資格に○をしてください。)	取得年月	年 月
日本留学試験・受験年月 (業学類・創業科学類は除く)	年 月	TOEFL・受験年月 (学校教育学類は除く)	年 月
(その他特記事項)			

記入上の注意

- 本人の自筆で黒ボールペンで記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先(日本国内)の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。
- 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
- 学校教育歴に重複する期間がある場合は、その他特記事項の欄に説明を記入してください。

身上調書（私費外国人留学生入試用）記入例

(様式13)

平成30年度(2018年度) 金沢大学
身上調書（私費外国人留学生入試用）

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

志願学域・学類等		人間社会 学域 経済 学類		専攻(保健学類のみ)	
志願者氏名	フリガナ	フリガナ	フリガナ	性別	国籍
	自国語	フリガナ	フリガナ	男・女	中国
	アルファベット	フリガナ	フリガナ	日本在留資格 (日本に居住している場合)	
生年月日	1997年 10月 5日生(2018年4月1日現在20歳)	留学 ※2018年1月出願時点			
志願者現住所	〒920-XXXX 金沢市00町0丁目00-00 0000学生寮 301号室 携帯電話(090-XXXX-XXXX) 電話(076-XXX-XXXX) Emailアドレス(XXXXX@XXXX.XXX.XXX)				
上記以外の連絡先(日本国内)	氏名 00 00 00 志願者との関係 友人 〒920-XXXX 金沢市00町0丁目00番地 もりの里マンション205号室 携帯電話(080-XXXX-XXXX) 電話(076-XXX-XXXX)				
志願者の自国の住所	中華人民共和国 00市00区0000 (郵便番号:XXXXX)				

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在国	特記事項
	初等教育(小学校)	2004年 9月から 2010年 7月まで	6	6	0000小学	中国	
2010年 9月から 2013年 7月まで		3	3	0000中学	中国		
中等教育(中学校)	2013年 9月から 2016年 7月まで	3	3	0000中学	中国		
	初等教育及び中等教育の 通算した年数	12	12				
高等学校卒業以降	2016年 9月から 2017年 7月まで	4	1	0000大学	中国	中途退学	
	2017年 9月から 2018年 3月まで	0.5	0.5	0000日本語学校	日本		

資格取得	国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格(フランス共和国) ・GCE Aレベル資格(取得した資格に○をしてください)	取得年月	年 月
日本留学試験・受験年月(漢字類・創薬科学類は除く)	2017年 11月	TOEFL・受験年月(学校教育学期は除く)	2017年 8月
(その他特記事項)			

記入上の注意

- 本人の自筆で黒ボールペンで記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先(日本国内)の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。
- 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
- 学校教育歴に重複する期間がある場合は、その他特記事項の欄に説明を記入してください。

【全体(共通)】

- ・本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- ・年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。

【志願学域・学類等】

- ・志望する学域・学類名を記入してください。
- ・理工学域の機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類の志願者は、理工3学類と記載してください。
- ・医薬保健学域保健学類の志願者は、志望する専攻名についても記入してください。

【志願者氏名】

- ・氏名は、自国語及びアルファベットの2種類を記入してください。

【日本在留資格】

- ・出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、該当する在留資格名を記入してください。
- ・出願時点で在留資格を有しない場合は、「なし」と記入してください。

【志願者現住所】

- ・志願者の現住所を記入してください。

【上記以外の連絡先(日本国内)】

- ・志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。

【学校教育歴】

- ・小学校入学から記入してください。

【正規の修学年限】

- ・当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。

【修業年数】

- ・実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。

【初等教育及び中等教育の通算した年数】

- ・正規の修学年限の欄及び修業年数の欄ともに、通算した年数を記入してください。

【高等学校卒業以降】

- ・高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
 - － 大学、短期大学、専門学校等の当該国の教育制度において、正規の修学年限が定められている場合は、正規の修学年限の欄及び修業年数の欄に年数を記入してください。
 - － 当該国の教育制度においては、正規の修学年限が特に定められていない学校の場合は、正規の修学年限の欄は、記入不要です。

【特記事項】

- ・「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

【その他特記事項】

- ・大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、検定の名称と合格年月を記入してください。
- ・学校教育歴に重複する期間がある場合は、説明を記入してください。

学生募集要項の請求方法

(1) 金沢大学Webサイトから資料請求をする場合

金沢大学Webサイトから直接、テレメールによる資料請求ができます。
詳しくは、金沢大学（入試情報）Webサイト
(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>) をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合（インターネット、自動音声応答電話）

① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話をご利用ください。



テレメール

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)の場合		自動音声応答電話の場合	
http://telemail.jp		IP電話	050-8601-0101 (24時間受付) (一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。)
バーコード ※対応するスマートフォン・ 携帯電話で読み取れます。			

② 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。（スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。）

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
学生募集要項（推薦，帰国子女，国際バカロレア，AO，私費外国人留学生）	487364	250円
学生募集要項（推薦，帰国子女，国際バカロレア，AO，私費外国人留学生）・大学案内	487365	300円

③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は資料到着まで保管しておいてください。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※資料は発送の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。

※随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から2週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。（ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。）

※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

→ (1) 及び (2) の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(3) 金沢大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は、受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し300円分の郵便切手（同時に大学案内も希望される場合は、300円に代えて350円分の郵便切手）を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封の上、封筒の表に「推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，AO入試，私費外国人留学生入試募集要項請求」（大学案内も希望する場合は「推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，AO入試，私費外国人留学生入試募集要項+大学案内請求」と朱書き，請求してください。

請求先・問い合わせ先

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5169, 5177~5179

電話での問い合わせは平日（月曜日～金曜日）9時から17時までに行ってください。